

第 1.5.1 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (1. 序論および施設の一般的記述)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可資料等	備考
C. I. 1 序論および施設の一般的記述 C. I. 1. 1 はじめに C. I. 1. 2 施設の一般的記述 C. I. 1. 3 他の施設との比較 C. I. 1. 4 代行者と契約者の明記 C. I. 1. 5 追加技術データの提示 C. I. 1. 6 参考文献 C. I. 1. 7 図面と他の詳細なデータ C. I. 1. 8 標準設計と早期立地許可申請の取合い領域 C. I. 1. 9 規制基準との整合性		C. I. 1 のサマリとして 主要な項目を記 載。

第 1.5.1 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (1. 序論および施設の一般的記述)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可資料等	備考
C. I. 1.1 はじめに C. I. 1.1.1 施設の所在地 C. I. 1.1.2 格納容器形式 C. I. 1.1.3 原子炉の形式 C. I. 1.1.4 出力 C. I. 1.1.5 スケジュール C. I. 1.1.6 書式と内容	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・本文三号 発電用原子炉の型式、熱出力及び基数 ・本文五号 発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備 イ 発電用原子炉施設の位置 ホ 原子炉冷却系統施設の構造及び設備 リ 原子炉格納施設の構造及び設備 ・本文六号 発電用原子炉施設の工事計画	許認可図書の内容と関係ない米国の規制体系に係る事項や様式などは対象外とする。
C. I. 1.2 施設の一般的記述	○安全性向上評価届出書 ・第 1 章 安全規制によって法令への適合性が確認された範囲 1.1 発電用原子炉施設の概要	
C. I. 1.3 他の施設との比較 C. I. 1.4 代行者と契約者の明記 C. I. 1.5 追加技術データの提示 C. I. 1.6 参考文献 C. I. 1.7 図面と他の詳細なデータ C. I. 1.8 標準設計と早期立地許可申請の取合い領域	—	許認可図書の内容と関係ない米国の規制体系に係る事項や様式などは対象外とする。
C. I. 1.9 規制基準との整合性 C. I. 1.9.1 規制指針との整合性 C. I. 1.9.2 標準審査指針 (SRP) との整合性 C. I. 1.9.3 共通課題 C. I. 1.9.4 運転経験(共通情報データ) C. I. 1.9.5 新型および革新型軽水炉設計の課題	○安全性向上評価届出書 ・第 2 章 安全性の向上のため自主的に講じた措置 2.2 調査等 2.2.2 国内外の最新の科学的知見及び技術的知見	許認可図書の内容と関係ない米国の規制体系に係る事項や様式などは対象外とする。

第 1.5.2 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (2. サイト特性)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 2 敷地の特徴 C. I. 2. 1 地理と人口統計 C. I. 2. 2 隣接の産業、輸送、軍事施設 C. I. 2. 3 気象 C. I. 2. 4 水理工学 C. I. 2. 5 地質、地震、及び地盤工学		C. I. 2 のサマリとして 主要な項目を記載

第 1.5.2 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (2. サイト特性)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 2.1 地理と人口統計 C. I. 2.1.1 敷地の概要 C. I. 2.1.2 非居住区域に対する権限と管理 C. I. 2.1.3 人口分布	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類六 1. 敷地 1.1 敷地の概況 1.2 その他の概況 6. 社会環境 6.1 人口分布 6.2 付近の集落及び公共施設	
C. I. 2.2 隣接の産業、輸送、軍事施設 C. I. 2.2.1 位置と経路 C. I. 2.2.2 隣接する重要設備 C. I. 2.2.3 潜在的な事象の評価	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類六 6. 社会環境 6.3 産業活動 6.4 交通運輸 6.5 開発計画	
C. I. 2.3 気象 C. I. 2.3.1 地域の気候 C. I. 2.3.2 地方の気象 C. I. 2.3.3 敷地における気象観測データ C. I. 2.3.4 事故放出時の短期的な大気拡散予測 C. I. 2.3.5 通常時の放出に対する長期的な大気拡散予測	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類六 2. 気象 2.1 伊方地方の気象 2.2 最寄りの気象官署等の資料による一般気象 2.3 敷地における気象観測 2.4 敷地における気象観測結果 2.5 安全解析に使用する気象条件 2.6 敷地における特別観測	

第 1.5.2 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (2. サイト特性)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 2. 4 水理工学 C. I. 2. 4. 1 水理学的特徴 C. I. 2. 4. 2 洪水 C. I. 2. 4. 3 小川や川の予想最大洪水 C. I. 2. 4. 4 ダム決壊の可能性 C. I. 2. 4. 5 高潮と静振（セイシュ）による予想最大洪水 C. I. 2. 4. 6 予想最大津波ハザード C. I. 2. 4. 7 氷の影響 C. I. 2. 4. 8 冷却水路と貯水池 C. I. 2. 4. 9 流路の変化 C. I. 2. 4. 10 洪水防護要求 C. I. 2. 4. 11 低水位についての検討 C. I. 2. 4. 12 地下水 C. I. 2. 4. 13 地下水と地表水への事故時の放射性液体排出物の放出 C. I. 2. 4. 14 技術仕様書と緊急時運転要求	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類六 4. 水理 7. 津波 ・添付書類九 5. 平常運転時における発電所周辺の一般公衆のうける線量評価 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 1 節 通則 第 17 条の 3 その他自然災害発生時の体制の整備	放射性液体廃棄物の放出影響は平常時の公衆被ばく評価にて確認
C. I. 2. 5 地質、地震、及び地盤工学 C. I. 2. 5. 1 基本的な地質と地震のデータ C. I. 2. 5. 2 地震活動 C. I. 2. 5. 3 地表の断層 C. I. 2. 5. 4 表面下地質物質と地盤の安定性 C. I. 2. 5. 5 斜面の安定性	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類六 3. 地盤 5. 地震	

第 1.5.3 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (3. 構築物, 系統, 機器及び設備の設計)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C.I.3 構築物、系統、機器、及び設備の設計 C.I.3.1 米国原子力規制委員会一般設計基準との整合性 C.I.3.2 構築物、系統、及び機器の分類 C.I.3.3 風と竜巻の荷重 C.I.3.4 水位（溢水）設計 C.I.3.5 ミサイル（飛来物）に対する防護 C.I.3.6 配管の想定破損に伴う動的作用からの防護 C.I.3.7 耐震設計 C.I.3.8 耐震カテゴリー I の構築物の設計 C.I.3.9 機械的な系統と機器 C.I.3.10 機械及び電気設備の耐震と動的検証 C.I.3.11 機械と電気設備の環境検証 C.I.3.12 配管設計の審査 C.I.3.13 ネジ部品（ASME 規格クラス 1、2、及び 3）		C.I.3 のサマリとして主要な項目を記載。 材料選定や検査性等、設備一般の要求事項については本章で代表する。

第 1.5.3 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (3. 構築物, 系統, 機器及び設備の設計)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 3.1 米国原子力規制委員会一般設計基準との整合性	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 1. 安全設計 1.12 原子炉設置変更許可申請に係る安全設計の方針	
C. I. 3.2 構築物、系統、及び機器の分類 C. I. 3.2.1 耐震の分類	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 1. 安全設計 1.4 耐震設計 1.4.1 設計基準対象施設の耐震設計 1.4.1.2 耐震重要度分類 1.4.2 重大事故等対処設備の耐震設計 1.4.2.2 重大事故等対処設備の設備分類 ○設計及び工事計画（令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」） ・本文 [原子炉冷却系統施設] 11 原子炉冷却系統施設（蒸気タービンを除く。）の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 1 章 共通項目 2. 自然現象 2.1 地震による損傷の防止	
C. I. 3.2.2 系統の品質グループ分類	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 1. 安全設計 1.3 安全機能の重要度分類 ○設計及び工事計画（令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」） ・本文 [原子炉冷却系統施設] 11 原子炉冷却系統施設（蒸気タービンを除く。）の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 1 章 共通項目 5. 設備に対する要求 5.2 材料及び構造等	

第 1.5.3 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (3. 構築物, 系統, 機器及び設備の設計)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 3.3 風と竜巻の荷重 C. I. 3.3.1 風荷重 C. I. 3.3.2 竜巻の荷重	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 1. 安全設計 1.8 竜巻防護に関する基本方針 1.12 原子炉設置変更許可申請に係る安全設計の方針 「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則（平成 25 年 6 月 19 日制定）」に対する適合 第 6 条（外部からの衝撃による損傷の防止） ○設計及び工事計画（令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」） ・本文 [原子炉冷却系統施設] 11 原子炉冷却系統施設（蒸気タービンを除く。）の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 1 章 共通項目 2. 自然現象 2.3 外部からの衝撃による損傷の防止 ・添付資料 - 耐震設計上重要な設備を設置する施設に関する説明書（自然現象への配慮に関する説明を含む。） - 強度に関する説明書	
C. I. 3.4 水位（溢水）設計 C. I. 3.4.1 内部への溢水防護措置 C. I. 3.4.2 解析手順 （次頁に続く）	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 1. 安全設計 1.5 耐津波設計 1.7 溢水防護に関する基本方針 10. その他発電用原子炉の附属施設 10.6 津波及び内部溢水に対する浸水防護設備 10.8 非常用取水設備 ○設計及び工事計画（令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」） ・本文 [浸水防護施設] 3 浸水防護施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格	

第 1.5.3 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (3. 構築物, 系統, 機器及び設備の設計)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	第 2 章 個別項目 1. 津波による損傷の防止 2. 発電用原子炉施設内における溢水等による損傷の防止 ・添付資料 - 耐震設計上重要な設備を設置する施設に関する説明書(自然現象への配慮に関する説明を含む。) - 発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書 - 耐震性に関する説明書 - 強度に関する説明書	
C. I. 3.5 ミサイル (飛来物) に対する防護 C. I. 3.5.1 ミサイルの選定と記述 C. I. 3.5.1.1 建屋内部で発生したミサイル (格納容器外) C. I. 3.5.1.2 格納容器内部で発生したミサイル C. I. 3.5.1.3 タービンミサイル	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 1. 安全設計 1.12 原子炉設置変更許可申請に係る安全設計の方針 「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成 25 年 6 月 19 日制定)」に対する適合 第 12 条 (安全施設) ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [原子炉冷却系統施設] 11 原子炉冷却系統施設 (蒸気タービンを除く。) の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 1 章 共通項目 5. 設備に対する要求 5.1 安全設備、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備 ・添付資料 - 発電用原子炉施設の蒸気タービン、ポンプ等の損壊に伴う飛散物による損傷防護に関する説明書	

第 1.5.3 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (3. 構築物, 系統, 機器及び設備の設計)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C.I.3.5.1.4 竜巻と強風により発生するミサイル	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 1. 安全設計 1.8 竜巻防護に関する基本方針 ○設計及び工事計画（令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」） ・本文 [原子炉冷却系統施設] 11 原子炉冷却系統施設（蒸気タービンを除く。）の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 1 章 共通項目 2. 自然現象 2.3 外部からの衝撃による損傷の防止 ・添付資料 - 耐震設計上重要な設備を設置する施設に関する説明書（自然現象への配慮に関する説明を含む。） - 強度に関する説明書	
C.I.3.5.1.5 航空機以外のサイト近くのミサイル C.I.3.5.1.6 航空機ハザード (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 1. 安全設計 1.12 原子炉設置変更許可申請に係る安全設計の方針 「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則（平成 25 年 6 月 19 日制定）」に対する適合 第 6 条（外部からの衝撃による損傷の防止） ○設計及び工事計画（令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」） ・本文 [原子炉冷却系統施設] 11 原子炉冷却系統施設（蒸気タービンを除く。）の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 1 章 共通項目 2. 自然現象 2.3 外部からの衝撃による損傷の防止	

第 1.5.3 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (3. 構築物, 系統, 機器及び設備の設計)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	・添付資料 - 耐震設計上重要な設備を設置する施設に関する説明書(自然現象への配慮に関する説明を含む。)	
C. I. 3. 5. 2 外部で発生したミサイルから防護すべき構築物、系統、及び機器	○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [原子炉冷却系統施設] 11 原子炉冷却系統施設 (蒸気タービンを除く。) の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 1 章 共通項目 2. 自然現象 2.3 外部からの衝撃による損傷の防止 ・添付資料 - 耐震設計上重要な設備を設置する施設に関する説明書(自然現象への配慮に関する説明を含む。)	
C. I. 3. 5. 3 障壁設計手順	○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [原子炉冷却系統施設] 11 原子炉冷却系統施設 (蒸気タービンを除く。) の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 1 章 共通項目 2. 自然現象 2.3 外部からの衝撃による損傷の防止 ・添付資料 - 耐震設計上重要な設備を設置する施設に関する説明書(自然現象への配慮に関する説明を含む。) - 強度に関する説明書	前節のミサイルの危険を防護するために設置する障壁等の設計に関する事項

第 1.5.3 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (3. 構築物、系統、機器及び設備の設計)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 3.6 配管の想定破損に伴う動的作用からの防護 C. I. 3.6.1 格納容器外部の流動系統の配管破損想定事象に対するプラントの防護設計 C. I. 3.6.2 想定配管破損に関する破損位置と動的作用の検討 C. I. 3.6.2.1 破損の位置と亀裂の形状を決めるために使用した基準 C. I. 3.6.2.2 ガードパイプ組立構築物の設計基準 C. I. 3.6.2.3 強制関数と応答モデルを定めるための解析手法 C. I. 3.6.2.4 健全性と運転性を検証するための動解析手法 C. I. 3.6.2.5 特別な設計の特性を扱う基準の導入 C. I. 3.6.3 破損前の漏洩 (LBB) 評価手順	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 1. 安全設計 1.7 溢水防護に関する基本方針 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [原子炉冷却系統施設] 11 原子炉冷却系統施設 (蒸気タービンを除く。) の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 1 章 共通項目 5. 設備に対する要求 5.1 安全設備、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備 5.1.3 悪影響防止等 [浸水防護施設] 3 浸水防護施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 2. 発電用原子炉施設内における溢水等による損傷の防止 ・添付資料 - 発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書	
C. I. 3.7 耐震設計 C. I. 3.7.1 耐震設計パラメータ C. I. 3.7.1.1 設計用地震応答スペクトル C. I. 3.7.1.1.1 設計用地盤地震動応答スペクトル C. I. 3.7.1.1.2 設計地震動の時刻歴 C. I. 3.7.1.2 設計用減衰定数 C. I. 3.7.1.3 耐震カテゴリー I の構築物に対する支持構築物 (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 1. 安全設計 1.4 耐震設計 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [原子炉冷却系統施設] 11 原子炉冷却系統施設 (蒸気タービンを除く。) の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 1 章 共通項目 1. 地盤等 2. 自然現象	

第 1.5.3 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (3. 構築物, 系統, 機器及び設備の設計)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	2.1 地震による損傷の防止 ・添付資料 - 耐震性に関する説明書	
C. I. 3. 7. 2 地震応答解析 C. I. 3. 7. 2. 1 地震応答解析手法 C. I. 3. 7. 2. 2 固有値解析と地震応答解析 C. I. 3. 7. 2. 3 解析モデル化に使用した手順 C. I. 3. 7. 2. 4 地盤と構築物の相互作用 C. I. 3. 7. 2. 5 床応答スペクトルの作成 C. I. 3. 7. 2. 6 地震動の 3 成分 C. I. 3. 7. 2. 7 モード応答の組合せ C. I. 3. 7. 2. 8 耐震カテゴリ I の構築物と非耐震カテゴリ I の構築物の相互作用 C. I. 3. 7. 2. 9 床応答スペクトルのパラメータ変化の依存性 C. I. 3. 7. 2. 10 一定の鉛直静的荷重の使用 C. I. 3. 7. 2. 11 ねじれの影響を考慮するために使用する方法 C. I. 3. 7. 2. 12 応答の比較 C. I. 3. 7. 2. 13 ダムの耐震解析手法 C. I. 3. 7. 2. 14 耐震カテゴリ I の構築物の動的安定性の検討 C. I. 3. 7. 2. 15 設計減衰定数の設定 C. I. 3. 7. 3 サブシステムの耐震解析 C. I. 3. 7. 3. 1 地震応答解析手法 C. I. 3. 7. 3. 2 解析モデル化に使用した手順 C. I. 3. 7. 3. 3 減衰定数解析手順 C. I. 3. 7. 3. 4 地震動の 3 成分 C. I. 3. 7. 3. 5 モード応答の重合せ C. I. 3. 7. 3. 6 垂直方向一定静荷重の使用 C. I. 3. 7. 3. 7 耐震カテゴリ I の埋設配管、管路、及び、トンネル C. I. 3. 7. 3. 8 耐震カテゴリ I のコンクリートダムの耐震解析手法 C. I. 3. 7. 3. 9 地上タンクの耐震解析手法	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 1. 安全設計 1.4 耐震設計 ○設計及び工事計画（令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」） ・本文 [原子炉冷却系統施設] 11 原子炉冷却系統施設（蒸気タービンを除く。）の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 1 章 共通項目 1. 地盤等 2. 自然現象 2.1 地震による損傷の防止 ・添付資料 - 耐震性に関する説明書	

第 1.5.3 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (3. 構築物、系統、機器及び設備の設計)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 3.7.4 地震計装 C. I. 3.7.4.1 規制ガイド 1.12 との比較 C. I. 3.7.4.2 計装の位置と記述 C. I. 3.7.4.3 制御室運転者への通知 C. I. 3.7.4.4 規制ガイド 1.166 との比較 C. I. 3.7.4.5 計装監視 C. I. 3.7.4.6 計画の実施	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 1. 安全設計 1.4 耐震設計 1.4.5 地震検知による耐震安全性の確保	
C. I. 3.8 耐震カテゴリー I の構築物の設計 C. I. 3.8.1 コンクリート製格納容器 C. I. 3.8.1.1 格納容器の記述 C. I. 3.8.1.2 適用可能な規則、基準、及び、仕様 C. I. 3.8.1.3 荷重と荷重の組合せ C. I. 3.8.1.4 設計と解析手順 C. I. 3.8.1.5 構築物許容基準 C. I. 3.8.1.6 材料、品質管理、及び、特殊建設技法 C. I. 3.8.1.7 試験と供用期間中検査の要件 C. I. 3.8.2 鋼製格納容器 C. I. 3.8.2.1 格納容器の記述 C. I. 3.8.2.2 適用可能な規則、基準、及び、仕様 C. I. 3.8.2.3 荷重と荷重の組合せ C. I. 3.8.2.4 設計と解析手順 C. I. 3.8.2.5 構築物許容基準 C. I. 3.8.2.6 材料、品質管理、及び、特殊建設技法 C. I. 3.8.2.7 試験と供用期間中検査の要件 C. I. 3.8.3 鋼製あるいはコンクリート製格納容器のコンクリートと鋼材の内部構築物 C. I. 3.8.3.1 内部構築物の記述 C. I. 3.8.3.2 適用可能な規則、基準、及び、仕様 C. I. 3.8.3.3 荷重と荷重の組合せ C. I. 3.8.3.4 設計と解析手順 C. I. 3.8.3.5 構築物許容基準 C. I. 3.8.3.6 材料、品質管理、及び、特殊建設技法 (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 1. 安全設計 1.1 安全設計の方針 1.1.9 強度設計の基本方針 1.4 耐震設計 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [原子炉冷却系統施設] 11 原子炉冷却系統施設 (蒸気タービンを除く。) の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 1 章 共通項目 1. 地盤等 2. 自然現象 2.1 地震による損傷の防止 2.3 外部からの衝撃による損傷の防止 5. 設備に対する要求 5.1 安全設備、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備 5.2 材料及び構造等 ・添付資料 - 耐震設計上重要な設備を設置する施設に関する説明書 (自然現象への配慮に関する説明を含む。) - 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書 - 耐震性に関する説明書 - 強度に関する説明書	耐震、構造強度設計に係る資料全般に概ね該当する。

第 1.5.3 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (3. 構築物, 系統, 機器及び設備の設計)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き) C. I. 3.8.3.7 試験と供用期間中検査の要件 C. I. 3.8.4 他の耐震カテゴリーⅠの構築物 C. I. 3.8.4.1 構築物の記述 C. I. 3.8.4.2 適用可能な規格、基準、及び、仕様 C. I. 3.8.4.3 荷重と荷重の組合せ C. I. 3.8.4.4 設計と解析手順 C. I. 3.8.4.5 構築物許容基準 C. I. 3.8.4.6 材料、品質管理、及び、特殊建設技法 C. I. 3.8.4.7 試験と供用期間中検査の要件 C. I. 3.8.5 基礎 C. I. 3.8.5.1 基礎の記述 C. I. 3.8.5.2 適用可能な規則、基準、及び、仕様 C. I. 3.8.5.3 荷重と荷重の組合せ C. I. 3.8.5.4 設計と解析手順 C. I. 3.8.5.5 構築物許容基準 C. I. 3.8.5.6 材料、品質管理、及び、特殊建設技法 C. I. 3.8.5.7 試験と供用期間中検査の要件	○保安規定 ・第 8 章 施設管理 第 119 条 施設管理計画 － 保全計画	
C. I. 3.9 機械的な系統と機器 C. I. 3.9.1 機械的な機器の特別な課題 C. I. 3.9.1.1 設計過渡事象 C. I. 3.9.1.2 解析で使した解析プログラム C. I. 3.9.1.3 実験に基づく応力解析 C. I. 3.9.1.4 損傷状態の評価に関する検討 C. I. 3.9.2 系統、機器、及び、設備の動的試験と解析 C. I. 3.9.2.1 配管の振動、熱膨張、及び、動的作用試験 C. I. 3.9.2.2 耐震カテゴリーⅠの機械設備の耐震解析と適応能力 C. I. 3.9.2.2.1 耐震検証試験 C. I. 3.9.2.2.2 耐震解析手法 (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 1. 安全設計 1.1 安全設計の方針 1.1.9 強度設計の基本方針 1.4 耐震設計 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [原子炉冷却系統施設] 11 原子炉冷却系統施設 (蒸気タービンを除く。) の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 1 章 共通項目 1. 地盤等	耐震、構造強度設計に係る資料全般に概ね該当する。

第 1.5.3 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (3. 構築物, 系統, 機器及び設備の設計)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き) C. I. 3. 9. 2. 2. 3 地震波の繰り返し回数の決定 C. I. 3. 9. 2. 2. 4 振動数の選定根拠 C. I. 3. 9. 2. 2. 5 地震動の 3 成分 C. I. 3. 9. 2. 2. 6 モード応答の組合せ C. I. 3. 9. 2. 2. 7 配管の解析手法 C. I. 3. 9. 2. 2. 8 別々の地震入力を有する多数の部分で支持された設備と機器 C. I. 3. 9. 2. 2. 9 一定の垂直静的外力の使用 C. I. 3. 9. 2. 2. 10 偏心的な質量のねじれの影響 C. I. 3. 9. 2. 2. 11 耐震カテゴリー I の埋設配管、導管、及び、トンネル C. I. 3. 9. 2. 2. 12 耐震カテゴリー I の配管と他の配管の相互作用 C. I. 3. 9. 2. 2. 13 減衰の解析手順 C. I. 3. 9. 2. 2. 14 試験と解析結果 C. I. 3. 9. 2. 3 流量過渡状態と定常状態下での原子炉内部構築物の動的応答解析 C. I. 3. 9. 2. 4 原子炉内部構築物の流動励起振動機能試験 C. I. 3. 9. 2. 5 事故時の原子炉内部構築物の動的解析 C. I. 3. 9. 2. 6 原子炉内部構築物の振動試験結果と解析結果の相関性 C. I. 3. 9. 3 ASME 規格クラス 1、2、3 の機器、機器支持構築物、炉心支持構築物 C. I. 3. 9. 3. 1 荷重の組合せ, 系統運転過度事象, 応力限界 C. I. 3. 9. 3. 2 圧力放出装置の設計と設置 C. I. 3. 9. 3. 3 ポンプと弁の操作性検証 C. I. 3. 9. 3. 4 機器の支持構築物 C. I. 3. 9. 4 制御棒駆動系統 C. I. 3. 9. 4. 1 CRDS の記述 C. I. 3. 9. 4. 2 CRDS に適用可能な設計仕様 (次頁に続く)	2. 自然現象 2.1 地震による損傷の防止 2.3 外部からの衝撃による損傷の防止 5. 設備に対する要求 5.1 安全設備、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備 5.2 材料及び構造等 ・添付資料 - 耐震設計上重要な設備を設置する施設に関する説明書(自然現象への配慮に関する説明を含む。) - 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書 - 耐震性に関する説明書 - 強度に関する説明書 ○保安規定 ・第 8 章 施設管理 第 119 条 施設管理計画 - 保全計画	

第 1.5.3 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (3. 構築物, 系統, 機器及び設備の設計)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き) C. I. 3.9.4.3 設計荷重、応力限界、及び、許容変形 C. I. 3.9.4.4 CRDS 操作性検証計画 C. I. 3.9.5 原子炉圧力容器内部構築物 C. I. 3.9.5.1 配置 C. I. 3.9.5.2 荷重条件 C. I. 3.9.5.3 設計基準 C. I. 3.9.5.4 蒸気乾燥器を含む BWR 原子炉圧力容器内部構築物 C. I. 3.9.6 ポンプ、弁、及びスナバに対する機能設計、検証、及び、供用期間中の試験計画 C. I. 3.9.6.1 ポンプ、バルブ、及び、スナバの機能設計と検証 C. I. 3.9.6.2 ポンプの供用期間中の試験計画 C. I. 3.9.6.3 弁の供用期間中の試験計画 C. I. 3.9.6.3.1 電動弁の供用期間中の試験計画 C. I. 3.9.6.3.2 MOV 以外の動力操作弁の供用期間中の試験計画 C. I. 3.9.6.3.3 逆止弁の供用期間中の試験計画 C. I. 3.9.6.3.4 圧力隔離弁の漏洩試験 C. I. 3.9.6.3.5 格納容器隔離弁の漏洩試験 C. I. 3.9.6.3.6 安全弁と主蒸気逃し弁の供用期間中の試験プログラム C. I. 3.9.6.3.7 手動操作弁の供用期間中の試験計画 C. I. 3.9.6.3.8 爆発により作動する弁の供用期間中の試験計画 C. I. 3.9.6.4 スナバの供用期間中の試験計画 C. I. 3.9.6.5 ASME OM 規格に対する救済要請と代替認可		
C. I. 3.10 機械及び電気設備の耐震と動的検証 C. I. 3.10.1 耐震の検証基準 C. I. 3.10.2 機械と電気設備、計測機器の検証手法と手順 (次頁に続く)	○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [原子炉冷却系統施設] 11 原子炉冷却系統施設 (蒸気タービンを除く。) の基本設	

第 1.5.3 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (3. 構築物, 系統, 機器及び設備の設計)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き) C. I. 3. 10. 3 機械と電気機器、計測機器の支持構築物の解析 または試験の手法と手順 C. I. 3. 10. 4 試験と解析結果及び経験データベース	計方針、適用基準及び適用規格 第 1 章 共通項目 2. 自然現象 2. 1 地震による損傷の防止 ・添付資料 - 耐震性に関する説明書	
C. I. 3. 11 機械と電気設備の環境検証 C. I. 3. 11. 1 設備の位置と環境条件 C. I. 3. 11. 2 検証試験と解析 C. I. 3. 11. 3 検証試験結果 C. I. 3. 11. 4 換気の喪失 C. I. 3. 11. 5 化学と放射線環境の評価 C. I. 3. 11. 6 機械設備の検証	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 1. 安全設計 1. 1 安全設計の方針 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [原子炉冷却系統施設] 11 原子炉冷却系統施設 (蒸気タービンを除く。) の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 1 章 共通項目 5. 設備に対する要求 5. 1 安全設備、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備 5. 2 材料及び構造等 ・添付資料 - 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書	
C. I. 3. 12 配管設計の審査 C. I. 3. 12. 1 はじめに C. I. 3. 12. 2 規格と基準 C. I. 3. 12. 3 配管解析手法 C. I. 3. 12. 3. 1 実験的応力解析手法 C. I. 3. 12. 3. 2 モード応答スペクトル解析手法 C. I. 3. 12. 3. 3 応答スペクトル解析手法 (あるいは、個々の支持構築物の振動応答解析手法) C. I. 3. 12. 3. 4 時刻歴応答解析手法 (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 1. 1 安全設計の方針 1. 1. 9 強度設計の基本方針 1. 4 耐震設計 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [原子炉冷却系統施設] 11 原子炉冷却系統施設 (蒸気タービンを除く。) の基本設	耐震、構造強度設計に係る資料全般に概ね該当する。

第 1.5.3 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (3. 構築物, 系統, 機器及び設備の設計)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き) C. I. 3. 12. 3. 5 非弾性解析手法 C. I. 3. 12. 3. 6 小口径配管解析 C. I. 3. 12. 3. 7 非耐震 (Ⅱ) /耐震 (Ⅰ) 相互作用 C. I. 3. 12. 3. 8 耐震カテゴリー I の埋設配管 C. I. 3. 12. 4 配管のモデル化技法 C. I. 3. 12. 4. 1 解析コード C. I. 3. 12. 4. 2 配管の動解析モデル C. I. 3. 12. 4. 3 配管のベンチマークプログラム C. I. 3. 12. 4. 4 分離基準 C. I. 3. 12. 5 配管応力解析基準 C. I. 3. 12. 5. 1 耐震包絡スペクトル対サイト固有のスペクトル C. I. 3. 12. 5. 2 設計過渡現象 C. I. 3. 12. 5. 3 荷重と荷重の組合せ C. I. 3. 12. 5. 4 減衰定数 C. I. 3. 12. 5. 5 モード応答の組合せ C. I. 3. 12. 5. 6 高周波モード C. I. 3. 12. 5. 7 ASME 規格クラス 1 の配管の疲労評価 C. I. 3. 12. 5. 8 ASME 規格クラス 2 と 3 の配管の疲労評価 C. I. 3. 12. 5. 9 原子炉冷却系統に接続された配管の熱振動 C. I. 3. 12. 5. 10 温度成層化 C. I. 3. 12. 5. 11 安全弁、主蒸気逃し弁の設計、設置、及び、試験 C. I. 3. 12. 5. 12 機能的能力 C. I. 3. 12. 5. 13 地震の慣性荷重と配管固定装置の地震動の影響の組合せ C. I. 3. 12. 5. 14 設計荷重としての運転基準地震 C. I. 3. 12. 5. 15 溶接取付け部品 C. I. 3. 12. 5. 16 構築物の複合モード減衰 C. I. 3. 12. 5. 17 熱膨張解析用最低温度 C. I. 3. 12. 5. 18 異なる系統間の冷却材喪失事故 (次頁に続く)	計方針、適用基準及び適用規格 第 1 章 共通項目 1. 地盤等 2. 自然現象 2. 1 地震による損傷の防止 2. 3 外部からの衝撃による損傷の防止 5. 設備に対する要求 5. 1 安全設備、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備 5. 2 材料及び構造等 ・ 添付資料 － 耐震設計上重要な設備を設置する施設に関する説明書 (自然現象への配慮に関する説明を含む。) － 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書 － 耐震性に関する説明書 － 強度に関する説明書 ○ 保安規定 ・ 第 8 章 施設管理 第 119 条 施設管理計画 － 保全計画	

第 1.5.3 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (3. 構築物, 系統, 機器及び設備の設計)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き) C. I. 3. 12. 5. 19 疲労設計の環境影響 C. I. 3. 12. 6 配管支持構築物の設計基準 C. I. 3. 12. 6. 1 適用規格 C. I. 3. 12. 6. 2 管轄境界 C. I. 3. 12. 6. 3 荷重と荷重の組合せ C. I. 3. 12. 6. 4 配管支持構築物の基礎床と固定ボルトの設計 C. I. 3. 12. 6. 5 エネルギー吸収装置と移動制限装置の使用 C. I. 3. 12. 6. 6 スナバの使用 C. I. 3. 12. 6. 7 配管支持構築物の剛性 C. I. 3. 12. 6. 8 自重地震励起 C. I. 3. 12. 6. 9 鋼材の設計 C. I. 3. 12. 6. 10 摩擦力の検討 C. I. 3. 12. 6. 11 配管支持構築物のギャップとクリアランス C. I. 3. 12. 6. 12 計装ケーブル支持構築物設計基準 C. I. 3. 12. 6. 13 配管のゆがみ限界		
C. I. 3. 13 ネジ部品 (ASME 規格クラス 1、2、及び、3) C. I. 3. 13. 1 設計での検討 C. I. 3. 13. 1. 1 材料選定 C. I. 3. 13. 1. 2 特別な材料加工工程と特別な管理 C. I. 3. 13. 1. 3 フェライト材で作られたネジ部品の破壊靱性要件 C. I. 3. 13. 1. 4 [保留] C. I. 3. 13. 1. 5 材料検証試験報告書 C. I. 3. 13. 2 供用期間中検査要件	○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [原子炉冷却系統施設] 11 原子炉冷却系統施設 (蒸気タービンを除く。) の基本設計方針、適用基準及び適用規格 - 第 1 章 共通項目 5. 設備に対する要求 5. 2 材料及び構造等 ・添付資料 - 耐震性に関する説明書	ASME 規格クラス 1、2、3 の系統で使用されているネジ部品製作のための材料選定基準 1 及び設計、製作、試験、検査の基準に関する事項

第 1.5.4 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (4. 原子炉)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 4 原子炉 C. I. 4. 1 概略の記述 C. I. 4. 2 燃料システム設計 C. I. 4. 3 核設計 C. I. 4. 4 熱水力設計 C. I. 4. 5 原子炉材料 C. I. 4. 6 反応度制御系の機能設計		C. I. 4 のサマリとして 主要な項目を記載。

第 1.5.4 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (4. 原子炉)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 4.1 概略の記述	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 3. 原子炉及び炉心 3.1 概要	燃料、原子炉容器内部構造物、反応度制御システム等の原子炉構成要素の機械、核及び熱流力設計の概要に関する事項
C. I. 4.2 燃料システム設計 C. I. 4.2.1 設計根拠 C. I. 4.2.2 記述と設計図面 C. I. 4.2.3 設計評価 C. I. 4.2.4 試験と検査計画	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 3. 原子炉及び炉心 3.2 機械設計 ○設計及び工事計画（令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」） ・本文 [原子炉本体] 2 炉心 6 原子炉本体の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 1. 炉心等 ・添付図面 - 燃料集合体の構造図 - 原子炉本体の構造図 ○保安規定 ・第 5 章 燃料管理 第 95 条 燃料の検査 第 96 条 燃料の取替等	
C. I. 4.3 核設計 C. I. 4.3.1 設計の基本方針 C. I. 4.3.2 記述 C. I. 4.3.2.1 核設計の記述 C. I. 4.3.2.2 出力分布 C. I. 4.3.2.3 反応度係数 C. I. 4.3.2.4 反応度制御の要求 C. I. 4.3.2.5 制御棒パターンと反応度価値（ワース） (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 3. 原子炉及び炉心 3.3 核設計 ○設計及び工事計画（令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」） ・本文 [原子炉本体] 1 炉型式、定格熱出力、過剰反応度及び反応度係数	記載を充実すべき項目 ○出力分布測定の不確定性について (1.5(2)a. 参照)

第 1.5.4 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (4. 原子炉)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き) C. I. 4. 3. 2. 6 燃料交換中の原子炉の臨界 C. I. 4. 3. 2. 7 安定性 C. I. 4. 3. 2. 8 容器の照射 C. I. 4. 3. 3 解析手法 C. I. 4. 3. 4 変更	2 炉心 6 原子炉本体の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 1. 炉心等 ・添付資料 － 熱出力計算書 － 制御能力についての計算書 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 19 条 停止余裕 第 20 条 臨界ボロン濃度 第 21 条 減速材温度係数 第 23 条 制御棒の挿入限界 第 25 条 炉物理検査 －モード 1－ 第 26 条 炉物理検査 －モード 2－ 第 28 条 原子炉熱出力 第 29 条 熱流束熱水路係数 ($F_Q(Z)$) 第 30 条 核的エンタルピ上昇熱水路係数 ($F^N_{\Delta H}$) 第 31 条 軸方向中性子束出力偏差 第 32 条 1/4 炉心出力偏差 第 34 条 DNB 比 ・第 5 章 燃料管理 第 96 条 燃料の取替等	
C. I. 4. 4 熱水力設計 C. I. 4. 4. 1 設計根拠 C. I. 4. 4. 2 原子炉炉心の熱水力設計の記述 C. I. 4. 4. 2. 1 概要の比較 C. I. 4. 4. 2. 2 限界熱流束比 C. I. 4. 4. 2. 3 線出力密度 C. I. 4. 4. 2. 4 ボイド率分布 C. I. 4. 4. 2. 5 炉心流量分布 C. I. 4. 4. 2. 6 炉心圧力損失と水力荷重 (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 3. 原子炉及び炉心 3.4 熱水力設計 3.5 動特性 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [原子炉本体] 1 炉型式、定格熱出力、過剰反応度及び反応度係数	

第 1.5.4 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (4. 原子炉)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き) C. I. 4. 4. 2. 7 相関式と物理データ C. I. 4. 4. 2. 8 運転過渡現象による熱影響 C. I. 4. 4. 2. 9 予測の不確実性 C. I. 4. 4. 2. 10 中性子束傾きの考慮 C. I. 4. 4. 3 原子炉冷却系の熱水力設計の記述 C. I. 4. 4. 3. 1 プラント構成データ C. I. 4. 4. 3. 2 ポンプに対する運転制限 C. I. 4. 4. 3. 3 出力－流量運転マップ (BWR) C. I. 4. 4. 3. 4 温度－出力運転マップ (PWR) C. I. 4. 4. 3. 5 負荷追従特性 C. I. 4. 4. 3. 6 熱水力特性の総括表 C. I. 4. 4. 4 評価 C. I. 4. 4. 4. 1 限界熱流束 C. I. 4. 4. 4. 2 炉心水力 C. I. 4. 4. 4. 3 出力分布の影響 C. I. 4. 4. 4. 4 炉心熱応答 C. I. 4. 4. 4. 5 解析手法 C. I. 4. 4. 5 試験と検証 C. I. 4. 4. 6 計装への要求	2 炉心 6 原子炉本体の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 1. 炉心等 ・添付資料 － 熱出力計算書 － 制御能力についての計算書 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 3 節 運転上の制限 第 19 条 停止余裕 第 20 条 臨界ボロン濃度 第 21 条 減速材温度係数 第 23 条 制御棒の挿入限界 第 25 条 炉物理検査 －モード 1－ 第 26 条 炉物理検査 －モード 2－ 第 28 条 原子炉熱出力 第 29 条 熱流束熱水路係数 ($F_Q(Z)$) 第 30 条 核的エンタルピ上昇熱水路係数 ($F_{N\Delta H}$) 第 31 条 軸方向中性子束出力偏差 第 32 条 1/4 炉心出力偏差 第 34 条 DNB 比	
C. I. 4. 5 原子炉材料 C. I. 4. 5. 1 制御棒駆動システムの構造材 C. I. 4. 5. 1. 1 材料仕様 C. I. 4. 5. 1. 2 オーステナイト系ステンレス鋼の構成要素 C. I. 4. 5. 1. 3 他の材料 C. I. 4. 5. 1. 4 洗浄と清潔さの管理 (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 3. 原子炉及び炉心 3.2 機械設計 3.2.3 反応度制御設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [計測制御系統施設] 2 制御材 3 制御棒駆動装置 10 計測制御系統施設の基本設計方針、適用基準及び適用	

第 1.5.4 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (4. 原子炉)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	規格 第 2 章 個別項目 1 計測制御系統施設 1.1 反応度制御系統及び原子炉停止系統	
C. I. 4.5.2 原子炉内部構造物と炉心支持構造物の材料 C. I. 4.5.2.1 材料の仕様 C. I. 4.5.2.2 溶接上の管理 C. I. 4.5.2.3 非破壊検査 C. I. 4.5.2.4 オーステナイト系ステンレス鋼の構成要素の加工と処理 C. I. 4.5.2.5 他の材料	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 3. 原子炉及び炉心 3.2 機械設計 3.2.2 炉内構造物 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [原子炉本体] 2 炉心 6 原子炉本体の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 1. 炉心等	
C. I. 4.6 反応度制御系の機能設計 C. I. 4.6.1 CRDS の情報 C. I. 4.6.2 CRDS の評価 C. I. 4.6.3 CRDS の試験と検証 C. I. 4.6.4 反応度制御システムの複合的に関するデータ C. I. 4.6.5 性能の組み合わせ評価 (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 3. 原子炉及び炉心 3.2 機械設計 3.2.3 反応度制御設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [計測制御系統施設] 2 制御材 3 制御棒駆動装置 10 計測制御系統施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 1 計測制御系統施設 1.1 反応度制御系統及び原子炉停止系統	

第 1.5.4 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (4. 原子炉)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	・ 添付資料 - 制御能力についての計算書 ○ 保安規定 ・ 第 4 章 運転管理 - 第 3 節 運転上の制限 - 第 22 条 制御棒動作機能	

第 1.5.5 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (5. 原子炉冷却設備)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 5 一次冷却系統および関連系統 C. I. 5.1 要約説明 C. I. 5.2 原子炉冷却材圧力バウンダリの健全性 C. I. 5.3 原子炉容器 C. I. 5.4 一次冷却系統及び関連系統		C. I. 5 のサマリとして 主要な項目を記 載。

第 1.5.5 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (5. 原子炉冷却設備)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 5.1 要約説明 C. I. 5.1.1 系統図 C. I. 5.1.2 配管計装図 C. I. 5.1.3 断面図	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 2. プラント配置 2.5 建屋及び構築物 5. 原子炉冷却系統施設 5.1 1 次冷却設備 5.1.1 通常運転時等	
C. I. 5.2 原子炉冷却材圧力バウンダリの健全性 C. I. 5.2.1 規格の遵守と規格事例 C. I. 5.2.1.1 10 CFR 50.55a の遵守 C. I. 5.2.1.2 適用可能な規格事例の遵守	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 1. 安全設計 1.12 原子炉設置変更許可申請に係る安全設計の方針 「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則（平成 25 年 6 月 19 日制定）」に対する適合 第 17 条（原子炉冷却材圧力バウンダリ）	
C. I. 5.2.2 過圧保護 C. I. 5.2.2.1 設計根拠 C. I. 5.2.2.2 設計評価 C. I. 5.2.2.3 配管計装図 C. I. 5.2.2.4 装置および機器の説明 C. I. 5.2.2.5 圧力逃し装置の取り付け C. I. 5.2.2.6 適切な規格と分類 C. I. 5.2.2.7 材料仕様 C. I. 5.2.2.8 プロセス計装 C. I. 5.2.2.9 系統信頼性 C. I. 5.2.2.10 試験と検査 （次頁に続く）	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 5. 原子炉冷却系統施設 5.1 1 次冷却設備 ○設計及び工事計画（令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」） ・本文 〔原子炉冷却系統施設〕 4 1 次冷却材の循環設備 11 原子炉冷却系統施設（蒸気タービンを除く。）の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 2. 1 次冷却材の循環設備 ・添付資料 － 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 3 原子炉冷却系統施設 － 安全弁及び逃がし弁の吹出量計算書 ・添付図面 － 原子炉冷却系統施設に係る機器の配置を明示した図面	記載を充実すべき項目 ○低温時の過加圧防護設備について (1.5(2)b. 参照)

第 1.5.5 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (5. 原子炉冷却設備)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	- 原子炉冷却系統施設の系統図 - 原子炉冷却系統施設の構造図 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 - 第 3 節 運転上の制限 - 第 43 条 加圧器安全弁 - 第 44 条 加圧器逃がし弁 - 第 45 条 低温過加圧防護	
C. I. 5.2.3 炉心冷却材圧力バウンダリ材料 C. I. 5.2.3.1 材料仕様 C. I. 5.2.3.2 原子炉冷却材との適合性 C. I. 5.2.3.3 フェライト材の製造と処理 C. I. 5.2.3.4 オーステナイトステンレス鋼の製造と処理 C. I. 5.2.3.5 ニッケルベース合金に対する一次冷却水応力腐食割れの防止 (PWR のみ) C. I. 5.2.3.6 ねじ部品	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 5. 原子炉冷却系統施設 5.1 1 次冷却設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [原子炉冷却系統施設] 4 1 次冷却材の循環設備 11 原子炉冷却系統施設 (蒸気タービンを除く。) の基本設計方針、適用基準及び適用規格 - 第 2 章 個別項目 1. 1 次冷却材 2. 1 次冷却材の循環設備 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 - 第 2 節 運転上の留意事項 - 第 18 条 水質管理	材料仕様では、原子炉容器を除く原子炉冷却材圧力バウンダリの一部分である各機器 (容器、配管、弁) の製造・組立てに使用される材料 (フェライト材、ステンレス鋼等) の適用規格に関する事項等を記載する。
C. I. 5.2.4 原子炉冷却材圧力バウンダリの供用期間中検査と試験 C. I. 5.2.4.1 供用期間中検査と試験 C. I. 5.2.4.2 使用前検査と試験プログラム (次頁に続く)	○発電用発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 5. 原子炉冷却系統施設 5.1 1 次冷却設備 5.1.1 通常運転時等 5.1.1.6 試験検査	

第 1.5.5 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (5. 原子炉冷却設備)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	○保安規定 ・第 4 章 運転管理 - 第 3 節 運転上の制限 - 第 85 条 1 次冷却系の耐圧・漏えい検査の実施	
C. I. 5. 2. 5 原子炉冷却材圧力バンダリ漏えい検出	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 5. 原子炉冷却系統施設 5.1 1 次冷却設備 5.1.1 通常運転時等 5.1.1.4 主要設備 5.1.1.4.8 漏えい監視設備 ○設計及び工事計画（令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」） ・本文 [原子炉冷却系統施設] 11 原子炉冷却系統施設（蒸気タービンを除く。）の基本設計方針、適用基準及び適用規格 - 第 2 章 個別項目 8. 原子炉格納容器内の 1 次冷却材漏えいを監視する装置 ・添付図面 - 原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置の検出器の取付箇所を明示した図面 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 - 第 2 節 運転上の留意事項 - 第 18 条の 2 原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離弁管理 - 第 3 節 運転上の制限 - 第 46 条 1 次冷却材漏えい率	
C. I. 5. 3 原子炉容器 C. I. 5. 3. 1 原子炉容器材料 C. I. 5. 3. 1. 1 材料規格 (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 5. 原子炉冷却系統施設 5.1 1 次冷却設備	

第 1.5.5 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (5. 原子炉冷却設備)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き) C. I. 5.3.1.2 製造および製作のために使用される特殊なプロセス C. I. 5.3.1.3 非破壊検査のための特殊な方法 C. I. 5.3.1.4 フェライトおよびオーステナイトステンレス鋼の特殊な管理 C. I. 5.3.1.5 破壊靱性 C. I. 5.3.1.6 材料監視 C. I. 5.3.1.7 原子炉容器ファスナー C. I. 5.3.2 圧力-温度限界、加圧熱衝撃及びシャルピー上部棚吸収エネルギーデータと解析 C. I. 5.3.2.1 限界曲線 C. I. 5.3.2.2 運転手順 C. I. 5.3.2.3 加圧熱衝撃 (PWR のみ) C. I. 5.3.2.4 上部棚吸収エネルギー (USE) C. I. 5.3.3 原子炉容器健全性 C. I. 5.3.3.1 設計 C. I. 5.3.3.2 建設材料 C. I. 5.3.3.3 製作法 C. I. 5.3.3.4 検査要求 C. I. 5.3.3.5 出荷および据え付け C. I. 5.3.3.6 運転条件 C. I. 5.3.3.7 供用中監視 C. I. 5.3.3.8 ねじ部品	○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [原子炉本体] 5 原子炉容器 6 原子炉本体の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 3. 原子炉容器 [原子炉冷却系統施設] 11 原子炉冷却系統施設 (蒸気タービンを除く。) の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 2. 1 次冷却材の循環設備 ・添付資料 - 原子炉容器の脆性破壊防止に関する説明書 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 3 節 運転上の制限 第 35 条 1 次冷却材の温度・圧力および 1 次冷却材温度変化率	
C. I. 5.4 一次冷却系統及び関連系統 C. I. 5.4.1 原子炉冷却材ポンプ C. I. 5.4.1.1 ポンプフライホイールの健全性 (PWR のみ) C. I. 5.4.2 蒸気発生器 (PWR のみ) C. I. 5.4.2.1 蒸気発生器材料 C. I. 5.4.2.2 蒸気発生器プログラム C. I. 5.4.3 原子炉冷却材配管 C. I. 5.4.4 [予備] (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 5. 原子炉冷却系統施設 5.1 1 次冷却設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [原子炉冷却系統施設] 4 1 次冷却材の循環設備	

第 1.5.5 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (5. 原子炉冷却設備)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き) C. I. 5. 4. 5 [予備]	11 原子炉冷却系統施設 (蒸気タービンを除く。) の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 2. 1 次冷却材の循環設備 - 添付資料 - 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 3 原子炉冷却系統施設 - 添付図面 - 原子炉冷却系統施設に係る機器の配置を明示した図面 - 原子炉冷却系統施設の系統図 - 原子炉冷却系統施設の構造図 ○保安規定 - 第 4 章 運転管理 - 第 2 節 運転上の留意事項 - 第 18 条 水質管理	
C. I. 5. 4. 6 原子炉炉心隔離冷却系 (BWR のみ) C. I. 5. 4. 6. 1 設計根拠 C. I. 5. 4. 6. 2 系統設計 C. I. 5. 4. 6. 3 性能評価	—	伊方 3 号機は該当しない。
C. I. 5. 4. 7 残留熱除去系 C. I. 5. 4. 7. 1 設計根拠 C. I. 5. 4. 7. 2 系統設計 C. I. 5. 4. 7. 3 性能評価 (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 - 添付書類八 5. 原子炉冷却系統施設 5.2 余熱除去設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) - 本文 [原子炉冷却系統施設] 6 余熱除去設備 11 原子炉冷却系統施設 (蒸気タービンを除く。) の基本設計方針、適用基準及び適用規格 - 第 2 章 個別項目 4. 余熱除去設備	記載を充実すべき項目 ○ミッドループ運転時の対応について (1.5(2)c. 参照) ○余熱除去設備の隔離弁設置の考え方について (1.5(2)d. 参照)

第 1.5.5 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (5. 原子炉冷却設備)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	- 添付資料 - 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 3 原子炉冷却系統施設 - 添付図面 - 原子炉冷却系統施設に係る機器の配置を明示した図面 - 原子炉冷却系統施設の系統図 - 原子炉冷却系統施設の構造図 ○保安規定 - 第 4 章 運転管理 第 3 節 運転上の制限 第 37 条 1 次冷却系－モード 4－ 第 38 条 1 次冷却系－モード 5 (1 次冷却系満水)－ 第 39 条 1 次冷却系－モード 5 (1 次冷却系非満水)－ 第 40 条 1 次冷却系－モード 6 (キャビティ高水位)－ 第 41 条 1 次冷却系－モード 6 (キャビティ低水位)－	
C. I. 5. 4. 8 原子炉冷却材浄化系 (BWR のみ) C. I. 5. 4. 8. 1 設計根拠 C. I. 5. 4. 8. 2 系統説明 C. I. 5. 4. 8. 3 性能評価 C. I. 5. 4. 9 [予備] C. I. 5. 4. 10 [予備]	—	伊方 3 号機は該当しない。
C. I. 5. 4. 11 加圧器逃しタンク (PWR のみ) C. I. 5. 4. 11. 1 設計根拠 C. I. 5. 4. 11. 2 系統の説明 C. I. 5. 4. 11. 3 性能評価 C. I. 5. 4. 11. 4 計装	○発電用原子炉設置変更許可申請書 添付書類八 5. 原子炉冷却系統施設 5.1 1 次冷却設備	
C. I. 5. 4. 12 一次冷却系高所ベント C. I. 5. 4. 12. 1 設計根拠 C. I. 5. 4. 12. 2 系統設計 C. I. 5. 4. 12. 3 性能評価 C. I. 5. 4. 13 [予備] C. I. 5. 4. 14 [予備]	○発電用原子炉設置変更許可申請書 添付書類八 5. 原子炉冷却系統施設 5.1 1 次冷却設備	原子炉容器から加圧器経由での加圧器逃がしタンクへのベント機能を記載する。

第 1.5.6 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (6. 工学的安全施設)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 6 工学的安全施設 C. I. 6.1 工学的安全施設材料 C. I. 6.2 格納容器系 C. I. 6.3 緊急炉心冷却系 (ECCS) C. I. 6.4 居住設備 C. I. 6.5 核分裂生成物除去と制御系 (FPR&CS) C. I. 6.6 クラス 2 と 3 の機器の共用中検査 C. I. 6.7 主蒸気隔離弁漏えい制御系 (BWR 用)		C. I. 6 のサマリとして 主要な項目を記載。

第 1.5.6 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (6. 工学的安全施設)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 6.1 工学的安全施設の材料 C. I. 6.1.1 金属材料 C. I. 6.1.1.1 材料の選定と製造 C. I. 6.1.1.2 炉心冷却材及び格納容器スプレイの成分及び共存性 C. I. 6.1.2 有機材料	—	材料については、各工学的安全施設にて記載 (C. I. 6.2～C. I. 6.5 を参照)
C. I. 6.2 格納容器系 C. I. 6.2.1 格納容器の機能設計 C. I. 6.2.1.1 格納容器構造 C. I. 6.2.1.2 格納容器サブコンパートメント C. I. 6.2.1.3 LOCA 解析 C. I. 6.2.1.4 二次系配管破断時の解析 (PWR) C. I. 6.2.1.5 ECCS 性能検討のための格納容器最小圧力解析 (PWR) C. I. 6.2.1.6 試験及び検査 C. I. 6.2.1.7 計装上の要求事項	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 9. 原子炉格納施設 9.1 原子炉格納施設 ・添付書類十 3. 設計基準事故の解析 3.5 原子炉格納容器内圧力、雰囲気等の異常な変化 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [原子炉格納施設] 1 原子炉格納容器 4 原子炉格納施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 1. 原子炉格納容器 1.1 原子炉格納容器本体等 ・添付資料 － 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書 ・添付図面 － 原子炉格納施設の構造図 － 原子炉格納施設に係る機器の配置を明示した図面 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 3 節 運転上の制限 第 55 条 原子炉格納容器	

第 1.5.6 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (6. 工学的安全施設)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 6. 2. 2 格納容器熱除去系 (CHRS) C. I. 6. 2. 2. 1 設計根拠 C. I. 6. 2. 2. 2 系統設計 C. I. 6. 2. 2. 3 設計評価 C. I. 6. 2. 2. 4 試験及び検査 C. I. 6. 2. 2. 5 計装上の要求事項	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 9. 原子炉格納施設 9.2 原子炉格納容器スプレイ設備 ・添付書類十 3. 設計基準事故の解析 3.5 原子炉格納容器内圧力、雰囲気等の異常な変化 ○設計及び工事計画（令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」） ・本文 [原子炉格納施設] 3 圧力低減設備その他安全設備 4 原子炉格納施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 2. 圧力低減設備その他の安全設備 2.1.1 格納容器スプレイ設備 ・添付資料 － 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 6 原子炉格納施設 － 圧力低減設備のポンプの有効吸込水頭に関する説明書 ・添付図面 － 原子炉格納施設に係る機器の配置を明示した図面 － 原子炉格納施設の系統図 － 原子炉格納施設の構造図 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 3 節 運転上の制限 第 57 条 原子炉格納容器スプレイ系	
C. I. 6. 2. 3 二次格納容器の機能設計 C. I. 6. 2. 3. 1 設計根拠 C. I. 6. 2. 3. 2 系統設計 C. I. 6. 2. 3. 3 設計評価 (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 9. 原子炉格納施設 9.3 アニュラス空気再循環設備 ・添付書類十	

第 1.5.6 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (6. 工学的安全施設)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き) C. I. 6. 2. 3. 4 試験及び検査 C. I. 6. 2. 3. 5 計装上の要求事項	3. 設計基準事故の解析 3.4 環境への放射性物質の異常な放出 3.5 原子炉格納容器内圧力、雰囲気等の異常な変化 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [原子炉格納施設] 2. 二次格納施設 3. 圧力低減設備その他安全設備 4. 原子炉格納施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 2. 圧力低減設備その他の安全設備 2.3 放射性物質濃度低減設備 ・添付資料 - 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 6. 原子炉格納施設 ・添付図面 - 原子炉格納施設に係る機器の配置を明示した図面 - 原子炉格納施設の系統図 - 原子炉格納施設の構造図 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 3 節 運転上の制限 第 58 条 アニュラス空気浄化系 第 59 条 アニュラス	
C. I. 6. 2. 4 格納容器隔離系 C. I. 6. 2. 4. 1 設計根拠 C. I. 6. 2. 4. 2 系統設計 C. I. 6. 2. 4. 3 設計評価 C. I. 6. 2. 4. 4 試験及び検査 (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 9. 原子炉格納施設 9.1 原子炉格納施設 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [原子炉格納施設]	

第 1.5.6 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (6. 工学的安全施設)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	4 原子炉格納施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 1.2 格納容器隔離弁 - 添付資料 - 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 6 原子炉格納施設 - 添付図面 - 原子炉格納施設に係る機器の配置を明示した図面 - 原子炉格納施設の構造図 ○保安規定 - 第 4 章 運転管理 - 第 3 節 運転上の制限 - 第 55 条 原子炉格納容器	
C. I. 6. 2. 5 可燃性ガス制御 C. I. 6. 2. 5. 1 設計根拠 C. I. 6. 2. 5. 2 系統設計 C. I. 6. 2. 5. 3 設計評価 C. I. 6. 2. 5. 4 試験及び検査 C. I. 6. 2. 5. 5 計装上の要求事項	○発電用原子炉設置変更許可申請書 - 添付書類八 9. 原子炉格納施設 9.4 安全補機室空気浄化設備 9.8 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備 9.9 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための設備 - 添付書類十 7. 重大事故に至るおそれがある事故及び重大事故に対する対策の有効性評価 7.2 重大事故 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) - 本文 [原子炉格納施設] 3 圧力低減設備その他安全設備 4 原子炉格納施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 - 第 2 章 個別項目	
(次頁に続く)		

第 1.5.6 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (6. 工学的安全施設)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	2. 圧力低減設備その他の安全設備 2.4 可燃性ガス濃度制御設備 ・添付資料 - 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 6 原子炉格納施設 - 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書 ・添付図面 - 原子炉格納施設に係る機器の配置を明示した図面 - 原子炉格納施設の系統図 - 原子炉格納施設の構造図 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 3 節 運転上の制限 第 70 条 安全補機室空気浄化系 第 84 条 重大事故等対処設備 (3 号炉)	
C. I. 6. 2. 6 格納容器漏えい試験 C. I. 6. 2. 6. 1 格納容器全体漏えい率試験 C. I. 6. 2. 6. 2 格納容器貫通部漏えい率試験 C. I. 6. 2. 6. 3 格納容器隔離弁漏えい率試験 C. I. 6. 2. 6. 4 定期試験のスケジュール及び報告 C. I. 6. 2. 6. 5 特殊試験の要求事項	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 9. 原子炉格納施設 9.1 原子炉格納施設 9.1.1 通常運転時等 9.1.1.6 試験検査 (1) 原子炉格納容器漏えい率試験 (2) 原子炉格納容器貫通部漏えい試験 (4) 原子炉格納容器隔離弁漏えい率試験 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [原子炉格納施設] 4 原子炉格納施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 1. 原子炉格納容器 1.1 原子炉格納容器本体等	
(次頁に続く)		

第 1.5.6 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (6. 工学的安全施設)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 3 節 運転上の制限 第 55 条 原子炉格納容器	
C. I. 6. 2. 7 格納容器の破壊防止	—	規格基準に従った設計の場合は記載不要。
C. I. 6. 3 緊急炉心冷却系 (ECCS) C. I. 6. 3. 1 設計基準 C. I. 6. 3. 2 系統設計 C. I. 6. 3. 2. 1 配管及び計装図 C. I. 6. 3. 2. 2 装置及び機器の説明 C. I. 6. 3. 2. 3 適用規格と分類 C. I. 6. 3. 2. 4 材料仕様と適合性 C. I. 6. 3. 2. 5 系統の信頼性 C. I. 6. 3. 2. 6 保護設備 C. I. 6. 3. 2. 7 性能試験と検査の設備 C. I. 6. 3. 2. 8 手動操作 C. I. 6. 3. 3 性能評価 C. I. 6. 3. 4 試験と検査 C. I. 6. 3. 4. 1 ECCS 性能試験 C. I. 6. 3. 4. 2 信頼性試験と検査 C. I. 6. 3. 5 計装への要求 (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 5. 原子炉冷却系統施設 5.3 非常用炉心冷却設備 ・添付書類十 3. 設計基準事故の解析 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [原子炉冷却系統施設] 7 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 11 原子炉冷却系統施設 (蒸気タービンを除く。) の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 5. 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 5.1 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備の機能 ・添付資料 - 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 3 原子炉冷却系統施設 - 非常用炉心冷却設備のポンプの有効吸込水頭に関する説明書 ・添付図面 - 原子炉冷却系統施設に係る機器の配置を明示した図面 - 原子炉冷却系統施設の系統図 - 原子炉冷却系統施設の構造図	記載を充実すべき項目 ○ほう素析出による流路閉塞の防止について (1.5(2)e. 参照) なお, ほう酸析出評価は C. I. 6. 3. 2. 5 に要求がある。

第 1.5.6 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (6. 工学的安全施設)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	○保安規定 ・第 4 章 運転管理 - 第 3 節 運転上の制限 - 第 50 条 蓄圧タンク - 第 51 条 非常用炉心冷却系－モード 1, 2 および 3－ - 第 52 条 非常用炉心冷却系－モード 4－ - 第 53 条 燃料取替用水タンク	
C. I. 6.4 居住設備 C. I. 6.4.1 設計根拠 C. I. 6.4.2 系統設計 C. I. 6.4.2.1 制御室周辺の決定 C. I. 6.4.2.2 換気系設計 C. I. 6.4.2.3 気密性 C. I. 6.4.2.4 他の区画と圧力のかかる機器との相互作用 C. I. 6.4.2.5 遮蔽設計 C. I. 6.4.3 系統の運転手順 C. I. 6.4.4 設計評価 C. I. 6.4.4.1 放射線防護 C. I. 6.4.4.2 毒性ガスの防護 C. I. 6.4.5 試験と検査 C. I. 6.4.6 計装への要求事項	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 6. 計測制御系統施設 6.10 制御室 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [計測制御系統施設] - 発電用原子炉の運転を管理するための制御装置 2 中央制御室機能及び中央制御室外原子炉停止機能 ・添付資料 - 生体遮蔽装置の放射線の遮蔽及び熱除去についての計算書 - 中央制御室の機能に関する説明書 - 中央制御室の居住性に関する説明書 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 - 第 3 節 運転上の制限 - 第 69 条 中央制御室非常用循環系 - 第 84 条 重大事故等対処設備 (3 号炉)	居住設備では、通常運転時及び事故時に運転員が制御室に留まり安全な状態を維持するための機器等の記載を要求されている。

第 1.5.6 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (6. 工学的安全施設)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 6.5 核分裂生成物除去と制御系 (FRP&CS) C. I. 6.5.1 工学的安全施設 (ESF) フィルタ系 C. I. 6.5.1.1 設計根拠 C. I. 6.5.1.2 系統設計 C. I. 6.5.1.3 設計評価 C. I. 6.5.1.4 試験と検査 C. I. 6.5.1.5 計装への要求事項 C. I. 6.5.1.6 材料 C. I. 6.5.2 格納容器スプレイ系 C. I. 6.5.2.1 設計基準 C. I. 6.5.2.2 系統設計 (核分裂生成物除去系用) C. I. 6.5.2.3 設計評価 C. I. 6.5.2.4 試験と検査 C. I. 6.5.2.5 計装への要求事項 C. I. 6.5.2.6 材料 C. I. 6.5.3 核分裂生成物制御系 C. I. 6.5.3.1 1 次格納容器 C. I. 6.5.3.2 2 次格納容器 (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 9. 原子炉格納施設 9.2 原子炉格納容器スプレイ設備 9.3 アニュラス空気再循環設備 9.4 安全補機室空気浄化設備 ・添付書類十 3. 設計基準事故の解析 3.4 環境への放射性物質の異常な放出 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [原子炉格納施設] 3 圧力低減設備その他安全設備 4 原子炉格納施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 2. 圧力低減設備その他の安全設備 2.1.1 格納容器スプレイ設備 2.3 放射性物質濃度低減設備 ・添付資料 - 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 6 原子炉格納施設 ・添付図面 - 原子炉格納施設に係る機器の配置を明示した図面 - 原子炉格納施設の系統図 - 原子炉格納施設の構造図 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 3 節 運転上の制限 第 57 条 原子炉格納容器スプレイ系 第 58 条 アニュラス空気浄化系 第 70 条 安全補機室空気浄化系	

第 1.5.6 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (6. 工学的安全施設)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	第 71 条 燃料取扱建屋空気浄化系 第 84 条 重大事故等対処設備 (3 号炉)	
C. I. 6.5.4 アイスコンデンサ C. I. 6.5.5 圧力制御プール C. I. 6.5.5.1 設計根拠 C. I. 6.5.5.2 系統設計 (核分裂生成物除去系用) C. I. 6.5.5.3 試験と検査	—	伊方 3 号機は該当しない。
C. I. 6.6 クラス 2 と 3 の機器の供用中検査 C. I. 6.6.1 試験に対する機器の従属 C. I. 6.6.2 接近性 C. I. 6.6.3 試験技術と手順 C. I. 6.6.4 試験間隔 C. I. 6.6.5 試験カテゴリと要求事項 C. I. 6.6.6 試験結果の評価 C. I. 6.6.7 系統の圧力試験 C. I. 6.6.8 想定配管故障の保護に対する追加 ISI	○保安規定 ・第 8 章 施設管理 第 119 条 施設管理計画 - 保全計画	
C. I. 6.7 主蒸気隔離弁漏えい制御系 (BWR 用) C. I. 6.7.1 設計基準 C. I. 6.7.2 系統説明 C. I. 6.7.3 系統の評価 C. I. 6.7.4 計装への要求事項 C. I. 6.7.5 検査と試験	—	伊方 3 号機は該当しない。

第 1.5.7 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (7. 計装制御)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 7 計装制御 (I & C) C. I. 7.1 序 C. I. 7.2 原子炉停止系 C. I. 7.3 工学的安全施設 (E S F) 系 C. I. 7.4 安全停止関連系 C. I. 7.5 安全に重要な情報系 C. I. 7.6 安全に重要なインタロック系 C. I. 7.7 安全を要求しない制御系 C. I. 7.8 冗長な計装制御系 C. I. 7.9 データ伝送系 (D C S)		C. I. 7 のサマリとして 主要な項目を記載。 計装に係る要求事項 は本章で代表する。

第 1.5.7 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (7. 計装制御)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 7.1 序 C. I. 7.1.1 安全関連系の明確化 C. I. 7.1.2 安全基準の明確化	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 6. 計測制御系統施設 6.1 原子炉制御設備 6.2 原子炉計装 6.3 プロセス計装設備 6.4 計装設備 (重大事故等対処設備) 6.6 原子炉保護設備 6.7 工学的安全施設作動設備 6.10 制御室	
C. I. 7.2 原子炉停止系 C. I. 7.2.1 説明 C. I. 7.2.1.1 系の説明 C. I. 7.2.1.2 設計根拠情報 C. I. 7.2.2 解析	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 6. 計測制御系統施設 6.2 原子炉計装 6.3 プロセス計装設備 6.6 原子炉保護設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [計測制御系統施設] 6 計測装置 7 原子炉非常停止信号 10 計測制御系統施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 1. 計測制御系統施設 1.3 安全保護装置等 ・添付資料 - 発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係る制御方法に関する説明書 - 計測装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書 ・添付図面 - 計測制御系統施設に係る機器の配置を明示した図面 - 計測制御系統施設の系統図	

(次頁に続く)

第 1.5.7 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (7. 計装制御)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	- 計測制御系統施設の構造図 - 計測制御系統図 - 計測装置の検出器の取付箇所を明示した図面 - 原子炉非常停止信号の作動回路の説明図及び工学的安全施設等の起動(作動)信号の起動(作動)回路の説明図 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 - 第 3 節 運転上の制限 - 第 33 条 計測および制御設備	
C. I. 7.3 工学的安全施設 (E S F) 系 C. I. 7.3.1 説明 C. I. 7.3.1.1 系の説明 C. I. 7.3.1.2 設計基準情報 C. I. 7.3.2 解析 (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 6. 計測制御系統施設 6.3 プロセス計装設備 6.7 工学的安全施設作動設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [計測制御系統施設] 6 計測装置 8 工学的安全施設等の作動信号 10 計測制御系統施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 - 第 2 章 個別項目 1. 計測制御系統施設 1.3 安全保護装置等 ・添付資料 - 発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係る制御方法に関する説明書 - 計測装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書 ・添付図面 - 計測制御系統施設に係る機器の配置を明示した図面 - 計測制御系統施設の系統図 - 計測制御系統施設の構造図	

第 1.5.7 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (7. 計装制御)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	- 計測制御系統図 - 計測装置の検出器の取付箇所を明示した図面 - 原子炉非常停止信号の作動回路の説明図及び工学的安全施設等の起動(作動)信号の起動(作動)回路の説明図 ○保安規定 ・ 第 4 章 運転管理 - 第 3 節 運転上の制限 - 第 33 条 計測および制御設備	
C. I. 7. 4 安全停止関連系 C. I. 7. 4. 1 説明 C. I. 7. 4. 2 解析	○発電用原子炉設置変更許可申請書 6. 計測制御系統施設 6.1 原子炉制御設備 6.2 原子炉計装 6.3 プロセス計装設備 ○設計及び工事計画（令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」） ・ 本文 [計測制御系統施設] 1 制御方式及び制御方法 2 制御材 3 制御棒駆動装置 4 ほう酸注入機能を有する設備 6 計測装置 10 計測制御系統施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 - 第 2 章 個別項目 1. 計測制御系統施設 1.1 反応度制御系統及び原子炉停止系統 1.2 計測装置等 - 発電用原子炉の運転を管理するための制御装置 1 制御方式 2 中央制御室機能及び中央制御室外原子炉停止機能 ・ 添付資料 - 発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係る制御方法に関する説明書	
(次頁に続く)		

第 1.5.7 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (7. 計装制御)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	- 計測装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書 ・添付図面 - 計測制御系統施設に係る機器の配置を明示した図面 - 計測制御系統施設の系統図 - 計測制御系統施設の構造図 - 計測制御系統図 - 計測装置の検出器の取付箇所を明示した図面 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 - 第 3 節 運転上の制限 - 第 33 条 計測および制御設備	
C. I. 7.5 安全に重要な情報系 C. I. 7.5.1 説明 C. I. 7.5.2 解析 (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 6. 計測制御系統施設 6.2 原子炉計装 6.3 プロセス計装設備 6.4 計装設備 (重大事故等対処設備) 6.10 制御室 10. その他発電用原子炉の附属施設 10.9 緊急時対策所 10.12 通信連絡設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [計測制御系統施設] 10 計測制御系統施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 - 第 2 章 個別項目 1. 計測制御系統施設 1.2 計測装置等 1.4 通信連絡設備	

第 1.5.7 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (7. 計装制御)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	発電用原子炉の運転を管理するための制御装置 2 中央制御室機能及び中央制御室外原子炉停止機能 [緊急時対策所] 2 緊急時対策所の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 1. 緊急時対策所 ・添付資料 - 中央制御室の機能に関する説明書 - 緊急時対策所の機能に関する説明書 - 計測装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書 - 通信連絡設備に関する説明書 ・添付図面 - 計測制御系統施設に係る機器の配置を明示した図面 - 計測制御系統施設の系統図 - 計測制御系統施設の構造図 - 計測制御系統図 - 計測装置の検出器の取付箇所を明示した図面 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 3 節 運転上の制限 第 33 条 計測および制御設備 第 84 条 重大事故等対処設備 (3 号炉)	
C. I. 7. 6 安全に重要なインタロック系 C. I. 7. 6. 1 説明 C. I. 7. 6. 2 解析	—	C. I. 7. 2、C. I. 7. 3 を参照。
C. I. 7. 7 安全を要求しない制御系 C. I. 7. 7. 1 説明 C. I. 7. 7. 2 設計基準情報 C. I. 7. 7. 3 解析 (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 6. 計測制御系統施設 6. 1 原子炉制御設備 6. 3 プロセス計装設備	

第 1.5.7 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (7. 計装制御)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [計測制御系統施設] 1 制御方式及び制御方法 2 制御材 3 制御棒駆動装置 6 計測装置 10 計測制御系統施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 - 第 2 章 個別項目 1. 計測制御系統施設 1.1 反応度制御系統及び原子炉停止系統 1.2 計測装置等 - 発電用原子炉の運転を管理するための制御装置 1 制御方式 2 中央制御室機能及び中央制御室外原子炉停止機能 ・添付資料 - 発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係る制御方法に関する説明書 ・添付図面 - 計測制御系統施設に係る機器の配置を明示した図面 - 計測制御系統施設の系統図 - 計測制御系統施設の構造図 - 計測制御系統図 - 計測装置の検出器の取付箇所を明示した図面 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 - 第 3 節 運転上の制限 - 第 33 条 計測および制御設備	

第 1.5.7 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (7. 計装制御)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 7.8 冗長な計装制御系 C. I. 7.8.1 説明 C. I. 7.8.2 解析	—	多重性については各項目にて記載。
C. I. 7.9 データ伝送系 (DCS) C. I. 7.9.1 説明 C. I. 7.9.2 設計根拠情報 C. I. 7.9.3 解析	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 6. 計測制御系統施設 6.10 制御室 10. その他発電用原子炉の附属施設 10.9 緊急時対策所 10.12 通信連絡設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [計測制御系統施設] 10 計測制御系統施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 - 第 2 章 個別項目 1. 計測制御系統施設 1.4 通信連絡設備 ・添付資料 - 通信連絡設備に関する説明書 - 中央制御室の機能に関する説明書 - 緊急時対策所の機能に関する説明書 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 - 第 3 節 運転上の制限 - 第 84 条 重大事故等対処設備 (3 号炉)	
Appendix C. I. 7-A デジタル計装と制御系の適用ガイダンス (次頁に続く)	—	記載を充実すべき項目 ○デジタル制御設備の特徴について (1.5(2)j. 参照)

第 1.5.7 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性（7. 計装制御）

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
（前頁の続き） Appendix C. I. 7-B IEEE Std 603（原子力発電所の安全系の基準）との整合性 Appendix C. I. 7-C IEEE Std 7-4.3.2（原子力発電所安全系のデジタルコンピュータの標準基準）との整合性		

第 1.5.8 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (8. 電源)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 8 電源 C. I. 8.1 序 C. I. 8.2 外部電源系 C. I. 8.3 所内電源系 C. I. 8.4 所内全電源喪失 (S B O)		C. I. 8 のサマリとして 主要な項目を記 載。

第 1.5.8 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (8. 電源)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 8.1 序	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 10. その他発電用原子炉の附属施設 10.1 非常用電源設備 10.2 代替電源設備 10.3 常用電源設備 ・添付書類十 7. 重大事故に至るおそれがある事故及び重大事故に対する対策の有効性評価 7.2 重大事故	
C. I. 8.2 外部電源系 C. I. 8.2.1 説明 C. I. 8.2.2 解析	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 10. その他発電用原子炉の附属施設 10.3 常用電源設備 ○設計及び工事計画（令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」） ・本文 [その他発電用原子炉の附属施設] 2 常用電源設備 1 発電機 2 変圧器 3 遮断器 4 常用電源設備の基本設計方針、適用基準及び適用規格 - 第 2 章 個別項目 1 保安電源設備 ・添付資料 - 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 7 その他発電用原子炉の附属施設 - 常用電源設備の健全性に関する説明書 ・添付図面 - 常用電源設備に係る機器の配置を明示した図面 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理	

(次頁に続く)

第 1.5.8 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (8. 電源)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	第 3 節 運転上の制限 第 72 条の 3 外部電源 (3 号炉)	
C. I. 8.3 所内電源系 C. I. 8.3.1 AC 電源 C. I. 8.3.1.1 説明 C. I. 8.3.1.2 解析 C. I. 8.3.1.3 AC 電源系の電源計算と配電系の検討	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 10. その他発電用原子炉の附属施設 10.1 非常用電源設備 10.2 代替電源設備 10.3 常用電源設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [その他発電用原子炉の附属施設] 1 非常用電源設備 1 常用電源設備との切換方法 2 非常用発電装置 3 その他の電源装置 (非常用のものに限る。) 4 非常用電源設備の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 1. 非常用電源設備の電源系統 2. 交流電源設備 4. 燃料設備 2 常用電源設備 4 常用電源設備の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 1 保安電源設備 ・添付資料 - 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 7 その他発電用原子炉の附属施設 - 非常用発電装置の出力の決定に関する説明書 - 常用電源設備の健全性に関する説明書 ・添付図面 - 非常用電源設備に係る機器の配置を明示した図面	
(次頁に続く)		

第 1.5.8 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (8. 電源)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	- 非常用電源設備の系統図 - 非常用電源設備の燃料系統図 - 非常用電源設備の構造図 - 常用電源設備に係る機器の配置を明示した図面 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 - 第 3 節 運転上の制限 - 第 73 条 ディーゼル発電機－モード 1, 2, 3 および 4－ - 第 74 条 ディーゼル発電機－モード 5, 6 および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間－ - 第 75 条 ディーゼル発電機の燃料油, 潤滑油および始動用空気 - 第 78 条 所内非常用母線－モード 1, 2, 3 および 4－ - 第 79 条 所内非常用母線－モード 5, 6 および照射済燃料移動中－ - 第 84 条 重大事故等対処設備 (3 号炉)	
C. I. 8.3.2 DC 電源 C. I. 8.3.2.1 説明 C. I. 8.3.2.2 解析 (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 10. その他発電用原子炉の附属施設 10.1 非常用電源設備 10.2 代替電源設備 10.3 常用電源設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [その他発電用原子炉の附属施設] 1 非常用電源設備 3 その他の電源装置 (非常用のものに限る。) 4 非常用電源設備の基本設計方針、適用基準及び適用規格 - 第 2 章 個別項目 3. 直流電源設備及び計装用電源設備 2 常用電源設備	

第 1.5.8 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (8. 電源)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	4 常用電源設備の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 1 保安電源設備 ・添付資料 - 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 7 その他発電用原子炉の附属施設 - 常用電源設備の健全性に関する説明書 ・添付図面 - 非常用電源設備に係る機器の配置を明示した図面 - 非常用電源設備の構造図 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 - 第 3 節 運転上の制限 - 第 76 条 非常用直流電源－モード 1, 2, 3 および 4－ - 第 77 条 非常用直流電源－モード 5, 6 および照射済燃料移動中－ - 第 84 条 重大事故等対処設備 (3 号炉)	
C. I. 8.4 所内全電源喪失 (SBO) C. I. 8.4.1 説明 C. I. 8.4.2 解析	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類十 7. 重大事故に至るおそれがある事故及び重大事故に対する対策の有効性評価 7.2 重大事故 7.1.2 全交流動力電源喪失	代替電源は C. I. 8.2 及び C. I. 8.3 も参照

第 1.5.9 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (9. 補助系)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 9 補助系 C. I. 9. 1 燃料貯蔵と取扱い C. I. 9. 2 水系 C. I. 9. 3 プロセス補助系 C. I. 9. 4 空気コンデショニング、加熱、冷却、そして換気系 C. I. 9. 5 他の補助系		C. I. 9 のサマリとして 主要な項目を記載

第 1.5.9 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (9. 補助系)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 9. 1 燃料貯蔵と取扱い C. I. 9. 1. 1 新燃料及び使用済燃料貯蔵と取扱いの臨界安全性 C. I. 9. 1. 1. 1 設計根拠 C. I. 9. 1. 1. 2 施設の説明 C. I. 9. 1. 1. 3 安全評価 C. I. 9. 1. 2 新燃料及び使用済燃料貯蔵 C. I. 9. 1. 2. 1 設計根拠 C. I. 9. 1. 2. 2 施設の説明 C. I. 9. 1. 2. 3 安全評価	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 4. 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 4.1 燃料取扱及び貯蔵設備 ○設計及び工事計画（令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」） ・本文 [核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設] 1 燃料取扱設備に係る次の事項 2 新燃料貯蔵設備に係る次の事項 3 使用済燃料貯蔵設備に係る次の事項 6 核燃料物質取扱施設及び貯蔵施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 1. 燃料取扱設備 2. 燃料貯蔵設備 ・添付資料 - 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 - 燃料取扱設備、新燃料貯蔵設備及び使用済燃料貯蔵設備の核燃料物質が臨界に達しないことに関する説明書 - 新燃料又は使用済燃料を取扱う機器の燃料集合体の落下防止に関する説明書 ・添付図面 - 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設に係る機器の配置を明示した図面 - 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の系統図 - 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の構造図 ○保安規定 ・第 5 章 燃料管理 第 93 条 新燃料の運搬 第 94 条 新燃料の貯蔵 第 95 条 燃料の検査 第 97 条 使用済燃料の貯蔵	

(次頁に続く)

第 1.5.9 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (9. 補助系)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	第 97 条の 2 使用済燃料ピットの管理 (3 号炉) 第 98 条 使用済燃料の運搬	
C. I. 9. 1. 3 使用済燃料プール冷却と浄化系 C. I. 9. 1. 3. 1 設計根拠 C. I. 9. 1. 3. 2 系統の説明 C. I. 9. 1. 3. 3 安全評価 C. I. 9. 1. 3. 4 検査と試験要求 C. I. 9. 1. 3. 5 計装要求	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 4. 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 4.2 使用済燃料ピット水浄化冷却設備 4.3 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設] 4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 6 核燃料物質取扱施設及び貯蔵施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 3 計測装置等 4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 ・添付資料 - 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 - 使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書 - 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書 - 燃料取扱設備、新燃料貯蔵設備及び使用済燃料貯蔵設備の核燃料物質が臨界に達しないことに関する説明書 ・添付図面 - 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設に係る機器の配置を明示した図面 - 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の系統図 - 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の構造図 - 使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の検出器の取付箇所を明示した図面 - 放射線管理用計測装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書	
(次頁に続く)		

第 1.5.9 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (9. 補助系)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	○保安規定 - 第 4 章 運転管理 - 第 3 節 運転上の制限 - 第 83 条 使用済燃料ピットの水位及び水温 - 第 84 条 重大事故等対処設備 (3 号炉)	
C. I. 9.1.4 軽荷重取扱い系 C. I. 9.1.4.1 設計根拠 C. I. 9.1.4.2 系統の説明 C. I. 9.1.4.3 安全評価 C. I. 9.1.4.4 検査と試験要求 C. I. 9.1.4.5 計装要求 C. I. 9.1.5 高架重荷重取扱い系 C. I. 9.1.5.1 設計根拠 C. I. 9.1.5.2 系統の説明 C. I. 9.1.5.3 安全評価 C. I. 9.1.5.4 検査と試験要求 C. I. 9.1.5.5 計装要求	○発電用原子炉設置変更許可申請書 - 添付書類八 4. 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 4.1 燃料取扱及び貯蔵設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) - 本文 [核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設] 1 燃料取扱設備 6 核燃料物質取扱施設及び貯蔵施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 - 第 2 章 個別項目 1 燃料取扱設備 2 燃料貯蔵設備 - 添付資料 - 新燃料又は使用済燃料を取扱う機器の燃料集合体の落下防止に関する説明書 - 添付図面 - 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設に係る機器の配置を明示した図面 - 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の系統図 - 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の構造図 ○保安規定 - 第 5 章 燃料管理 - 第 93 条 新燃料の運搬 - 第 97 条の 2 使用済燃料ピットの管理 (3 号炉) - 第 98 条 使用済燃料の運搬	

第 1.5.9 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (9. 補助系)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 9.2 水系 C. I. 9.2.1 発電所サービス水系 (開放、原水冷却系) C. I. 9.2.1.1 設計根拠 C. I. 9.2.1.2 系統の説明 C. I. 9.2.1.3 安全評価 C. I. 9.2.1.4 検査及び試験要求 C. I. 9.2.1.5 計装要求	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 5. 原子炉冷却系統施設 5.9 原子炉補機冷却設備 5.9.2 原子炉補機冷却海水設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [原子炉冷却系統施設] 9 原子炉補機冷却設備 11 原子炉冷却系統施設 (蒸気タービンを除く。) の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 7 原子炉補機冷却設備 ・添付資料 - 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 3 原子炉冷却系統施設 ・添付図面 - 原子炉冷却系統施設に係る機器の配置を明示した図面 - 原子炉冷却系統施設の系統図 - 原子炉冷却系統施設の構造図 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 3 節 運転上の制限 第 67 条 原子炉補機冷却海水系	記載を充実すべき項目 ○原子炉補機冷却海水設備における安全系と非安全系の隔離及び汚れ防止について (1.5(2)g. 参照)
C. I. 9.2.2 原子炉補助のための冷却系 (閉じた冷却水系) C. I. 9.2.2.1 設計根拠 C. I. 9.2.2.2 系統の説明 C. I. 9.2.2.3 安全評価 C. I. 9.2.2.4 検査及び試験要求 C. I. 9.2.2.5 計装要求 (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 5.9 原子炉補機冷却設備 5.9.1 原子炉補機冷却水設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [原子炉冷却系統施設] 9 原子炉補機冷却設備	記載を充実すべき項目 ○原子炉補機冷却設備における安全系と非安全系の隔離について (1.5(2)f. 参照)

第 1.5.9 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (9. 補助系)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	11 原子炉冷却系統施設 (蒸気タービンを除く。) の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 7 原子炉補機冷却設備 ・添付資料 - 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 3 原子炉冷却系統施設 ・添付図面 - 原子炉冷却系統施設に係る機器の配置を明示した図面 - 原子炉冷却系統施設の系統図 - 原子炉冷却系統施設の構造図 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 - 第 3 節 運転上の制限 - 第 66 条 原子炉補機冷却水系 - 第 84 条 重大事故等対処設備 (3 号炉)	
C. I. 9. 2. 3 [欠番]	—	
C. I. 9. 2. 4 飲用及び衛生的な水系	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 5. 原子炉冷却系統施設 5.12 給水处理設備	
C. I. 9. 2. 5 最終ヒートシンク C. I. 9. 2. 5. 1 設計根拠 C. I. 9. 2. 5. 2 系統の説明 C. I. 9. 2. 5. 3 安全評価 C. I. 9. 2. 5. 4 検査及び試験要求	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 5. 原子炉冷却系統施設 5.10 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための設備 10. その他発電用原子炉の附属施設 10.8 非常用取水設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [その他発電用原子炉の附属施設] 7 非常用取水設備	
(次頁に続く)		

第 1.5.9 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (9. 補助系)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	1 取水設備 (非常用の冷却用海水を確保する構築物に限る。) 2 非常用取水設備の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 1 非常用取水設備	
C.I.9.2.6 復水貯蔵設備 C.I.9.2.6.1 設計根拠 C.I.9.2.6.2 系統の説明 C.I.9.2.6.3 安全評価 C.I.9.2.6.4 検査及び試験要求 C.I.9.2.6.5 計装要求	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 5. 原炉冷却系統施設 5.12 給水処理設備	
C.I.9.3 プロセス補助系 C.I.9.3.1 圧縮空気系	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 6. 計測制御系統施設 6.9 空気圧縮設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [計測制御系統施設] 9 制御用空気設備 10 計測制御系統施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 1 計測制御系統施設 1.5 制御用空気設備 (容器) ・添付資料 - 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 4 計測制御系統施設 ・添付図面 - 計測制御系統施設に係る機器の配置を明示した図面 - 計測制御系統施設の系統図 - 計測制御系統施設の構造図	
(次頁に続く)		

第 1.5.9 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (9. 補助系)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	○保安規定 ・第 4 章 運転管理 - 第 3 節 運転上の制限 - 第 68 条 制御用空気系	
C. I. 9. 3. 2 プロセス及び事故後サンプリング系	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 6. 計測制御系統施設 6.5 試料採取設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [計測制御系統施設] 10 計測制御系統施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 - 第 2 章 個別項目 1 計測制御系統施設 1.2 計測装置等	
C. I. 9. 3. 3 設備及び床ドレン系	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 7. 放射性廃棄物廃棄施設 7.3 液体廃棄物処理設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [放射性廃棄物の廃棄施設] 1 気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備に係る次の事項 2 気体、液体又は固体廃棄物処理設備に係る次の事項 5 放射性廃棄物の廃棄施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 - 第 2 章 個別項目 1. 廃棄物処理設備、廃棄物貯蔵設備等	

第 1.5.9 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (9. 補助系)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C.I.9.3.4 化学体積制御系 (ホウ素回収系) C.I.9.3.4.1 設計根拠 C.I.9.3.4.2 系統の説明 C.I.9.3.4.3 安全評価 C.I.9.3.4.4 検査及び試験要求 C.I.9.3.4.5 計装要求	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 5. 原子炉冷却系統施設 5.8 化学体積制御設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [原子炉冷却系統施設] 8 化学体積制御設備 11 原子炉冷却系統施設 (蒸気タービンを除く。) の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 6 化学体積制御設備 [計測制御系統施設] 4 ほう酸注入機能 10 計測制御系統施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 1 計測制御系統施設 1.1 反応度制御系統及び原子炉停止系統 ・添付資料 - 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 3 原子炉冷却系統施設 4 計測制御系統施設 - 制御能力についての計算書 ・添付図面 - 原子炉冷却系統施設に係る機器の配置を明示した図面 - 原子炉冷却系統施設の系統図 - 原子炉冷却系統施設の構造図 - 計測制御系統施設に係る機器の配置を明示した図面 - 計測制御系統施設の系統図 - 計測制御系統施設の構造図	
(次頁に続く)		

第 1.5.9 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (9. 補助系)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 3 節 運転上の制限 第 27 条 化学体積制御系 (ほう酸濃縮機能)	
C. I. 9. 3. 5 ほう酸水注入系 (BWR のみ) C. I. 9. 3. 5. 1 設計根拠 C. I. 9. 3. 5. 2 系統の説明 C. I. 9. 3. 5. 3 安全評価 C. I. 9. 3. 5. 4 検査及び試験要求 C. I. 9. 3. 5. 5 計装要求	—	伊方 3 号機は該当しない。
C. I. 9. 4 空気調和、加熱、冷却、換気系 C. I. 9. 4. 1 制御室エリア換気系 C. I. 9. 4. 1. 1 設計根拠 C. I. 9. 4. 1. 2 系統の説明 C. I. 9. 4. 1. 3 安全評価 C. I. 9. 4. 1. 4 検査及び試験要求 C. I. 9. 4. 2 使用済燃料プールエリア換気系 C. I. 9. 4. 2. 1 設計根拠 C. I. 9. 4. 2. 2 系統の説明 C. I. 9. 4. 2. 3 安全評価 C. I. 9. 4. 2. 4 検査及び試験要求 C. I. 9. 4. 3 補助及び放射性廃棄物エリア換気系 C. I. 9. 4. 3. 1 設計根拠 C. I. 9. 4. 3. 2 系統の説明 C. I. 9. 4. 3. 3 安全評価 C. I. 9. 4. 3. 4 検査及び試験要求 C. I. 9. 4. 4 タービン建屋エリア換気系 C. I. 9. 4. 4. 1 設計根拠 C. I. 9. 4. 4. 2 系統の説明 (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 8. 放射線管理施設 8.2 換気空調設備 9. 原子炉格納施設 9.3 アニュラス空気再循環設備 9.4 安全補機室空気浄化設備 ・添付書類十 3. 設計基準事故の解析 3.4 環境への放射性物質の異常な放出 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [放射線管理施設] 2 換気設備 4 放射線管理施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 2 換気装置、生体遮蔽装置 [原子炉格納施設] 3 圧力低減設備その他安全設備 4 原子炉格納施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目	

第 1.5.9 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (9. 補助系)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き) C. I. 9. 4. 4. 3 安全評価 C. I. 9. 4. 4. 4 検査及び試験要求 C. I. 9. 4. 5 工学的安全施設換気系 C. I. 9. 4. 5. 1 設計根拠 C. I. 9. 4. 5. 2 系統の説明 C. I. 9. 4. 5. 3 安全評価 C. I. 9. 4. 5. 4 検査及び試験要求	2. 圧力低減設備その他の安全設備 2.3 放射性物質濃度低減設備 ・添付資料 - 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 5 放射線管理施設 6 原子炉格納施設 - 中央制御室の居住性に関する説明書 ・添付図面 - 放射線管理施設に係る機器の配置を明示した図面 - 放射線管理施設の系統図 - 放射線管理施設の構造図 - 原子炉格納施設に係る機器の配置を明示した図面 - 原子炉格納施設の系統図 - 原子炉格納施設の構造図 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 3 節 運転上の制限 第 58 条 アニュラス空気浄化系 第 69 条 中央制御室非常用循環系 第 70 条 安全補機室空気浄化系 第 71 条 燃料取扱建屋空気浄化系 第 84 条 重大事故等対処設備 (3 号炉)	
C. I. 9. 5 他の補助系 C. I. 9. 5. 1 火災防護系 C. I. 9. 5. 1. 1 設計根拠 C. I. 9. 5. 1. 2 系統の説明 C. I. 9. 5. 1. 3 安全評価 C. I. 9. 5. 1. 4 検査と試験要求 (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 10. その他発電用原子炉の附属施設 10.5 火災防護設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [その他発電用原子炉の附属施設] 4 火災防護設備 1 火災区域構造物及び火災区画構造物	

第 1.5.9 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (9. 補助系)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	2 消火設備 3 火災防護設備の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 1. 火災防護設備の基本設計方針 ・添付資料 - 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 7 その他発電用原子炉の附属施設 - 発電用原子炉施設の火災防護に関する説明書 ・添付図面 - 火災防護設備に係る機器の配置を明示した図面 - 火災防護設備の系統図 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 1 節 通則 第 17 条 火災発生時の体制の整備	
C. I. 9. 5. 2 通信系 C. I. 9. 5. 2. 1 設計根拠 C. I. 9. 5. 2. 2 系統の説明 C. I. 9. 5. 2. 3 検査及び試験要求	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 10. その他発電用原子炉の附属施設 10.12 通信連絡設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [計測制御系統施設] 10 計測制御系統施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 1. 計測制御系統施設 1.4 通信連絡設備 ・添付資料 - 通信連絡設備に関する説明書 ○保安規定	
(次頁に続く)		

第 1.5.9 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (9. 補助系)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	- 第 4 章 運転管理 - 第 3 節 運転上の制限 - 第 84 条 重大事故等対処設備 (3 号炉)	
C. I. 9.5.3 照明系	○発電用原子炉設置変更許可申請書 - 添付書類八 10. その他発電用原子炉の附属施設 10.11 安全避難通路等 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) - 本文 [原子炉冷却系統施設] 11 原子炉冷却系統施設 (蒸気タービンを除く。)の基本設計方針、適用基準及び適用規格 - 第 1 章 共通項目 6. その他 6.3 安全避難通路等 - 添付資料 - 非常用照明に関する説明書 ○保安規定 - 第 4 章 運転管理 - 第 1 節 通則 - 第 17 条の 4 資機材等の整備 (3 号炉)	
C. I. 9.5.4 ディーゼル発電機燃料油貯蔵と移送系統 C. I. 9.5.4.1 設計根拠 C. I. 9.5.4.2 系統の説明 C. I. 9.5.4.3 安全評価 C. I. 9.5.4.4 検査及び試験要求 C. I. 9.5.5 ディーゼル発電機冷却水系 C. I. 9.5.5.1 設計根拠 C. I. 9.5.5.2 系統の説明 C. I. 9.5.5.3 安全評価 (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 - 添付書類八 10. その他発電用原子炉の附属施設 10.1 非常用電源設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) - 本文 [その他発電用原子炉の附属施設] 1 非常用電源設備 1 非常用電源設備 4 非常用電源設備の基本設計方針、適用基準及び適用	

第 1.5.9 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (9. 補助系)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き) C. I. 9. 5. 5. 4 検査及び試験要求 C. I. 9. 5. 6 ディーゼル発電機起動空気系 C. I. 9. 5. 6. 1 設計根拠 C. I. 9. 5. 6. 2 系統の説明 C. I. 9. 5. 6. 3 安全評価 C. I. 9. 5. 7 ディーゼル発電機潤滑油系 C. I. 9. 5. 7. 1 設計根拠 C. I. 9. 5. 7. 2 系統の説明 C. I. 9. 5. 7. 3 安全評価 C. I. 9. 5. 8 ディーゼル発電機燃焼空気取り入れと排気系 C. I. 9. 5. 8. 1 設計根拠 C. I. 9. 5. 8. 2 系統の説明 C. I. 9. 5. 8. 3 安全評価 C. I. 9. 5. 8. 4 検査及び試験要求	規格 第 2 章 個別項目 2. 交流電源設備 2. 1 ディーゼル発電機 4. 燃料設備 4. 1 ディーゼル発電機の燃料設備 ・添付資料 － 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 7 その他発電用原子炉の附属施設 ・添付図面 － 非常用電源設備に係る機器の配置を明示した図面 － 非常用電源設備の系統図 － 非常用電源設備の燃料系統図 － 非常用電源設備の構造図 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 3 節 運転上の制限 第 73 条 ディーゼル発電機 ーモード 1, 2, 3 および 4 ー 第 74 条 ディーゼル発電機 ーモード 5, 6 および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間 第 75 条 ディーゼル発電機の燃料油, 潤滑油および始動用空気	

第 1.5.10 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (10. タービン設備)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 10 蒸気から電力への変換系統 C. I. 10.1 概要の記述 C. I. 10.2 タービン発電機 C. I. 10.3 主蒸気供給システム C. I. 10.4 蒸気系及び電力変換系のその他の特長		C. I. 10 のサマリとして 主要な項目を記載

第 1.5.10 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (10. タービン設備)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 10.1 概要の記述	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 5. 原子炉冷却系統施設 5.1 1 次冷却設備 5.11 蒸気タービン及び附属施設 5.12 給水処理設備	
C. I. 10.2 タービン発電機 C. I. 10.2.1 設計根拠 C. I. 10.2.2 記述 C. I. 10.2.3 タービンロータの健全性 C. I. 10.2.3.1 材料の選定 C. I. 10.2.3.2 破壊靱性 C. I. 10.2.3.3 供用前検査 C. I. 10.2.3.4 タービンロータの設計 C. I. 10.2.3.5 供用中検査	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 5. 原子炉冷却系統施設 5.11 蒸気タービン及び附属施設 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [蒸気タービン] 1 蒸気タービン本体 3 蒸気タービンの基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 1. 蒸気タービン	
C. I. 10.3 主蒸気供給システム C. I. 10.3.1 設計根拠 C. I. 10.3.2 記述 C. I. 10.3.3 評価 C. I. 10.3.4 検査と試験の要求 C. I. 10.3.5 水質 (PWR のみ) C. I. 10.3.6 蒸気と給水系の材料 C. I. 10.3.6.1 破壊靱性 C. I. 10.3.6.2 材料の選定と加工 C. I. 10.3.6.3 流れ加速型腐食 (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 5. 原子炉冷却系統施設 5.1 1 次冷却設備 5.11 蒸気タービン及び附属施設 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [原子炉冷却系統施設] 5 主蒸気・主給水設備 11 原子炉冷却系統施設 (蒸気タービンを除く。) の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 3. 主蒸気・主給水設備 ・添付資料 - 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書	記載を充実すべき項目 ○蒸気発生器内給水系の水撃防止について (1.5(2)h. 参照)

第 1.5.10 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (10. タービン設備)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	3. 原子炉冷却系統施設 - 安全弁及び逃がし弁の吹出量計算書 ・添付図面 - 原子炉冷却系統施設に係る機器の配置を明示した図面 - 原子炉冷却系統施設の系統図 - 原子炉冷却系統施設の構造図 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 2 節 運転上の留意事項 第 18 条 水質管理 第 3 節 運転上の制限 第 60 条 主蒸気安全弁 第 61 条 主蒸気隔離弁 第 62 条 主給水隔離弁, 主給水制御弁および主給水パイパス制御弁 第 63 条 主蒸気逃がし弁	
C. I. 10.4 蒸気系及び電力変換系のその他の特長 C. I. 10.4.1 主復水器 C. I. 10.4.2 主復水器空気抽出系 C. I. 10.4.3 タービン軸封系 C. I. 10.4.4 タービンバイパス系 C. I. 10.4.5 循環水系 C. I. 10.4.6 復水浄化系 C. I. 10.4.7 復水・給水系	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 5. 原子炉冷却系統施設 5.11 蒸気タービン及び附属施設 5.12 給水处理設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [蒸気タービン] 2 蒸気タービンの附属設備 3 蒸気タービンの基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 1. 蒸気タービン	
C. I. 10.4.8 蒸気発生器ブローダウン系 (PWR) C. I. 10.4.8.1 設計根拠 C. I. 10.4.8.2 系統説明及び運転 (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 5. 原子炉冷却系統施設 5.1 1 次冷却設備	

第 1.5.10 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (10. タービン設備)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き) C. I. 10. 4. 8. 3 安全評価	○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 2 節 運転上の留意事項 第 18 条 水質管理	
C. I. 10. 4. 9 補助給水系 (PWR) C. I. 10. 4. 9. 1 設計根拠 C. I. 10. 4. 9. 2 系統に関する記述 C. I. 10. 4. 9. 3 安全評価	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 5. 原子炉冷却系統施設 5.11 蒸気タービン及び附属施設 5.12 給水処理設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [蒸気タービン] 2 蒸気タービンの附属設備 3 蒸気タービンの基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 1. 蒸気タービン ・添付資料 - 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 3. 原子炉冷却系統施設 ・添付図面 - 原子炉冷却系統施設に係る機器の配置を明示した図面 - 原子炉冷却系統施設の系統図 - 原子炉冷却系統施設の構造図 ○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 3 節 運転上の制限 第 64 条 補助給水系 第 65 条 補助給水タンク	記載を充実すべき項目 ○補助給水ポンプによる高温停止の維持と余熱除去系運転開始温度までの冷却能力について (1.5(2)i. 参照)

第 1.5.11 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性（11. 放射性廃棄物管理）

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 11 放射性廃棄物管理 C. I. 11.1 ソースターム C. I. 11.2 液体廃棄物処理系 C. I. 11.3 気体廃棄物処理系 C. I. 11.4 固体廃棄物処理系 C. I. 11.5 プロセス放射線及び排出放射線監視系及び試料採取系		C. I. 11 のサマリとして主要な項目を記載。

第 1.5.11 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (11. 放射性廃棄物管理)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 11.1 ソースターム	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類九 4. 放射性廃棄物処理 4.1 放射性廃棄物処理の基本的考え方 4.2 気体廃棄物処理 4.3 液体廃棄物処理 4.4 固体廃棄物処理	
C. I. 11.2 液体廃棄物処理系 C. I. 11.2.1 設計根拠 C. I. 11.2.2 系統構成に関する説明 C. I. 11.2.3 放射性廃液の放出	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 7. 放射性廃棄物廃棄施設 7.1 概要 7.3 液体廃棄物処理設備 8. 放射線管理施設 8.1 放射線管理設備 ・添付書類九 1. 放射線防護に関する基本方針 4. 放射性廃棄物処理 4.1 放射性廃棄物処理の基本的考え方 4.3 液体廃棄物処理 5. 平常運転時における発電所周辺の一般公衆の受ける線量評価 5.1 実効線量の計算 5.2 線量評価結果 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [放射性廃棄物の廃棄施設] 1 気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備 2 気体、液体又は固体廃棄物処理設備 5 放射性廃棄物の廃棄施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 1. 廃棄物処理設備、廃棄物貯蔵設備等	
(次頁に続く)		

1.5-102

改訂 4 第5回届出 2026年7月

第 1.5.11 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (11. 放射性廃棄物管理)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	- 廃棄物処理設備の構造図 ○保安規定 ・第 6 章 放射性廃棄物管理 第 101 条 放射性気体廃棄物の管理	
C. I. 11.4 固体廃棄物処理系 C. I. 11.4.1 設計根拠 C. I. 11.4.2 系統構成に関する記述 C. I. 11.4.2.1 乾燥固体廃棄物 C. I. 11.4.2.2 湿分含有固体廃棄物 C. I. 11.4.2.3 容器封入、貯蔵及び搬出 C. I. 11.4.2.4 放出管理 C. I. 11.4.2.5 運転及び個人被ばく C. I. 11.4.3 放射性物質の放出 (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 7. 放射性廃棄物廃棄施設 7.1 概要 7.4 固体廃棄物処理設備 8. 放射線管理施設 8.1 放射線管理設備 ・添付書類九 1. 放射線防護に関する基本方針 4. 放射性廃棄物処理 4.1 放射性廃棄物処理の基本的考え方 4.4 固体廃棄物処理 5. 平常運転時における発電所周辺の一般公衆の受ける線量評価 5.1 実効線量の計算 5.2 線量評価結果 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [放射性廃棄物の廃棄施設] 1 気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備 2 気体、液体又は固体廃棄物処理設備 5 放射性廃棄物の廃棄施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 1. 廃棄物処理設備、廃棄物貯蔵設備等 ・添付図面 - 廃棄物処理設備の系統図 - 廃棄物処理設備の構造図	

第 1.5.11 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (11. 放射性廃棄物管理)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	○保安規定 ・第 6 章 放射性廃棄物管理 - 第 99 条 放射性固体廃棄物の管理	
C. I. 11.5 プロセス放射線及び排出放射線監視系及び試料採取系 C. I. 11.5.1 設計根拠 C. I. 11.5.2 系統構成に関する記述 C. I. 11.5.3 排出物の監視及び試料採取 C. I. 11.5.4 プロセス放射線監視及び試料採取	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 6. 計装制御系統施設 6.5 試料採取設備 8. 放射線管理施設 8.1 放射線管理設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [計測制御系統施設] 10 計測制御系統施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 - 第 2 章 個別項目 1. 計測制御系統施設 1.2 計測装置等 [放射線管理施設] 1 放射線管理用計測装置 4 放射線管理施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 - 第 2 章 個別項目 1. 放射線管理施設 ・添付資料 - 放射線管理用計測装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書 ・添付図面 - 放射線管理施設に係る機器の配置を明示した図面 - 放射線管理用計測装置の検出器の取付箇所を明示した図面 - 放射線管理施設の構造図	

第 1.5.12 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (12. 放射線防護)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 12 放射線防護 C. I. 12.1 職業上の放射線被ばくを確実に合理的に達成できる 限り低く抑えること C. I. 12.2 放射線源 C. I. 12.3 放射線防護に関する設計上の特長 C. I. 12.4 線量評価 C. I. 12.5 運転に関わる放射線防護計画		C. I. 12 のサマリとして 主要な項目を記載。

第 1.5.12 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (12. 放射線防護)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 12.1 職業上の放射線被ばくを確実に合理的に達成できる限り低く抑えること C. I. 12.1.1 方針に対する考慮 C. I. 12.1.2 設計上の考慮 C. I. 12.1.3 運転上の考慮	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 8. 放射線管理施設 8.1 放射線管理設備 8.2 換気空調設備 8.3 遮蔽設備 ・添付書類九 1. 放射線防護に関する基本方針 1.1 基本的考え方 1.2 具体的方法 2. 放射線管理 2.1 管理区域、保全区域及び周辺監視区域の設定 2.2 管理区域内の管理 2.3 作業管理 2.4 個人管理 2.5 保全活動区域内の管理 2.6 周辺監視区域内の管理 2.7 放射性廃棄物の放出管理 ○設計及び工事計画（令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」） ・本文 [放射線管理施設] 1 放射線管理用計測装置 2 換気設備 3 生体遮へい装置 4 放射線管理施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 1. 放射線管理施設 ・添付資料 - 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 5 放射線管理施設 - 放射線管理用計測装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書 - 管理区域の出入管理設備及び環境試料分析装置に関する説明書	

(次頁に続く)

第 1.5.12 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (12. 放射線防護)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	- 生体遮蔽装置の放射線の遮蔽及び熱除去についての計算書 ・添付図面 - 放射線管理施設に係る機器の配置を明示した図面 - 放射線管理施設の構造図 - 放射線管理用計測装置の検出器の取付箇所を明示した図面	
C. I. 12.2 放射線源 C. I. 12.2.1 容器に封入された線源 C. I. 12.2.2 空气中放射性物質線源	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類九 4. 放射性廃棄物処理 4.1 放射性廃棄物処理の基本的考え方 4.2 気体廃棄物処理 4.3 液体廃棄物処理 4.4 固体廃棄物処理	
C. I. 12.3 放射線防護に関する設計上の特長 C. I. 12.3.1 施設の設計上の特長 C. I. 12.3.2 放射線遮蔽 C. I. 12.3.3 換気系 C. I. 12.3.4 エリア放射線モニタ及び空气中放射能モニタ計装 C. I. 12.3.5 線量評価 (次頁に続く)	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 8. 放射線管理施設 8.1 放射線管理設備 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [放射線管理施設] 1 放射線管理用計測装置 2 換気設備 3 生体遮へい装置 4 放射線管理施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格 第 2 章 個別項目 1. 放射線管理施設 ・添付資料 - 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書 5 放射線管理施設 - 放射線管理用計測装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書 - 管理区域の出入管理設備及び環境試料分析装置に関する説明書	

第 1.5.12 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (12. 放射線防護)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	- 生体遮蔽装置の放射線の遮蔽及び熱除去についての計算書 ・添付図面 - 放射線管理施設に係る機器の配置を明示した図面 - 放射線管理施設の構造図 - 放射線管理用計測装置の検出器の取付箇所を明示した図面	
C. I. 12.4 線量評価	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類九 1. 放射線防護に関する基本方針 2. 放射線管理 3. 周辺監視区域境界付近及び周辺地域の放射線監視 4. 放射性廃棄物処理 5. 平常運転時における発電所周辺の一般公衆の受ける線量評価 5.1 実効線量の計算 5.2 線量評価結果	
C. I. 12.5 運転に関わる放射線防護計画 C. I. 12.5.1 組織 C. I. 12.5.2 設備、計装、及び施設 C. I. 12.5.2.1 設備及び計装 C. I. 12.5.2.2 施設 C. I. 12.5.3 各種手順 C. I. 12.5.3.1 放射線に関する定期サーベイ C. I. 12.5.3.2 接近管理 C. I. 12.5.3.3 放射線作業許可 C. I. 12.5.3.4 汚染管理 C. I. 12.5.3.5 個人モニタリング及び線量管理 C. I. 12.5.3.6 呼吸防護 C. I. 12.5.3.7 放射性物質管理 C. I. 12.5.3.8 表示及び標識 C. I. 12.5.3.9 放射線防護訓練 C. I. 12.5.3.10 品質保証 (次頁に続く)	○保安規定 ・第 2 章 品質マネジメントシステム - 第 3 条 品質マネジメントシステム計画 ・第 3 章 保安管理体制 - 第 1 節 組織および職務 - 第 4 条 保安に関する組織 - 第 5 条 保安に関する職務 ・第 7 章 放射線管理 - 第 1 節 区域管理 - 第 104 条 管理区域の設定・解除 - 第 105 条 管理区域内における区域区分 - 第 106 条 管理区域内における特別措置 - 第 107 条 管理区域への出入管理 - 第 108 条 管理区域出入者の遵守事項 - 第 109 条 保全区域 - 第 110 条 周辺監視区域	

第 1.5.12 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (12. 放射線防護)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き)	第 2 節 被ばく管理 第 111 条 線量の評価 第 112 条 床・壁等の除染 第 3 節 外部放射線に係る線量当量率等の測定 第 113 条 外部放射線に係る線量当量率等の測定 第 114 条 放射線計測器類の管理 第 4 節 物品移動の管理 第 115 条 管理区域外等への搬出および運搬 第 116 条 発電所外への運搬 第 5 節 協力会社の放射線防護 第 117 条 協力会社の放射線防護 第 6 節 その他 第 118 条 頻度の定義 ・ 第 10 章 保安教育 第 130 条 所員への保安教育 第 131 条 協力会社従業員への保安教育	

第 1.5.13 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (13. 運転)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 13 運転の実施 C. I. 13.1 許認可取得事業者の組織上の構成 C. I. 13.2 訓練 C. I. 13.3 緊急事態計画 C. I. 13.4 運用プログラムの実施 C. I. 13.5 プラント手順書 C. I. 13.6 セキュリティ		C. I. 13 のサマリとして主要な項目を記載。

第 1.5.13 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (13. 運転)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 13.1 許認可取得事業者の組織上の構成 C. I. 13.1.1 管理及び技術サポートの組織 C. I. 13.1.1.1 設計、建設、及び運転の責任 C. I. 13.1.1.2 組織上の配置 C. I. 13.1.1.3 資格	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類五 1. 組織 2. 技術者の確保 3. 経験 4. 品質保証活動 5. 教育・訓練 6. 有資格者等の選任・配置 ○保安規定 ・第 2 章 品質マネジメントシステム ・第 3 章 保安管理体制 第 1 節 組織および職務 第 3 節 主任技術者 ・第 4 章 運転管理 第 1 節 通則 第 4 節 異常時の措置 ・第 5 章 燃料管理 ・第 6 章 放射性廃棄物管理 ・第 7 章 放射線管理 ・第 8 章 施設管理 ・第 9 章 非常時の措置 ・第 10 章 保安教育	

第 1.5.13 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (13. 運転)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 13.1.2 運転組織 C. I. 13.1.2.1 プラント組織 C. I. 13.1.2.2 プラント人員の責任及び権限 C. I. 13.1.2.3 運転シフト人員	○保安規定 ・第 3 章 保安管理体制 第 1 節 組織および職務 第 4 条 保安に関する組織 第 5 条 保安に関する職務 ・第 4 章 運転管理 第 1 節 通則 第 12 条 運転員等の確保 第 17 条 火災発生時の体制の整備 第 17 条の 2 内部溢水発生時の体制の整備 第 17 条の 2 の 2 火山影響等発生時の体制の整備 第 17 条の 3 その他自然災害発生時等の体制の整備 第 17 条の 3 の 2 有毒ガス発生時の体制の整備 第 17 条の 4 資機材等の整備 第 17 条の 5 重大事故等発生時の体制の整備 第 17 条の 6 大規模損壊発生時の体制の整備	
C. I. 13.1.3 原子力プラント人員の資格 C. I. 13.1.3.1 资格要求 C. I. 13.1.3.2 プラント人員の資格	○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 1 節 通則 第 12 条 運転員等の確保 ・第 10 章 保安教育 第 130 条 所員への保安教育	
C. I. 13.2 訓練 C. I. 13.2.1 プラントスタッフ訓練プログラム C. I. 13.2.1.1 プログラムの説明 C. I. 13.2.1.1.1 資格を有するプラントスタッフ訓練プログラム C. I. 13.2.1.1.2 無資格のプラントスタッフ訓練プログラム C. I. 13.2.1.2 使用前試験及び燃料装荷との調整	○保安規定 ・第 10 章 保安教育 第 130 条 所員への保安教育 第 131 条 協力会社従業員への保安教育	
C. I. 13.2.2 適用できる NRC 図書	—	国内関連規則・ガイド等を適用。

第 1.5.13 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (13. 運転)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 13.3 緊急事態計画 C. I. 13.3.1 一括許認可申請書及び緊急時計画内容 C. I. 13.3.2 複数ユニットサイトの緊急時計画の考慮 C. I. 13.3.3 緊急時計画の検査、試験、解析、及び許容基準	○保安規定 ・第 9 章 非常時の措置 第 120 条 原子力防災組織 第 121 条 原子力防災要員 第 121 条の 2 緊急作業従事者の選定 第 122 条 原子力防災資機材等の整備 第 123 条 通報経路 第 124 条 原子力防災訓練 第 125 条 通報 第 126 条 非常体制の発令 第 127 条 応急措置 第 128 条 緊急時における活動 第 128 条の 2 緊急作業従事者の線量管理等 第 129 条 非常体制の解除	緊急事態計画として、このほかに、「伊方発電所 原子力事業者防災業務計画」がある。
C. I. 13.4 運用プログラムの実施	○保安規定 ・第 1 章 総則 ・第 2 章 品質マネジメントシステム ・第 3 章 保安管理体制 ・第 4 章 運転管理 ・第 5 章 燃料管理 ・第 6 章 放射性廃棄物管理 ・第 7 章 放射線管理 ・第 8 章 施設管理 ・第 9 章 非常時の措置 ・第 10 章 保安教育 ・第 11 章 記録および報告	
C. I. 13.5 プラント手順書 C. I. 13.5.1 管理手順書 C. I. 13.5.1.1 管理手順—一般 C. I. 13.5.2 運転及び保守手順書 C. I. 13.5.2.1 運転及び緊急時運転手順書 C. I. 13.5.2.2 保守及び他の操作手順	○保安規定 ・第 2 章 品質マネジメントシステム 第 3 条 品質マネジメントシステム計画 4. 品質マネジメントシステム 4.1 品質マネジメントシステムに係る要求事項 4.2 品質マネジメントシステムの文書化	

第 1.5.13 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (13. 運転)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 13.6 セキュリティ C. I. 13.6.1 核物質防護 — 一括許認可 C. I. 13.6.2 物理的安全 — 設計認証 C. I. 13.6.3 物理的安全 — 早期サイト認可	—	「核物質防護規定」がある。
C. I. 13.7 義務に対する適合性 (FFD)	—	「個人の信頼性確認制度」がある。

第 1.5.14 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性（14. 検証プログラム）

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 14 検証プログラム C. I. 14.1 初期プラント試験プログラムで対処されるべき個別情報 C. I. 14.2 初期プラント試験プログラム C. I. 14.2.1 試験プログラムと目的の要約 C. I. 14.2.2 組織とスタッフ編成 C. I. 14.2.3 試験手順 C. I. 14.2.4 試験プログラムの実施 C. I. 14.2.5 試験結果の審査、評価及び承認 C. I. 14.2.6 試験の記録 C. I. 14.2.7 試験プログラムと規制ガイドとの一致性 C. I. 14.2.8 試験プログラム展開の中での原子炉の運転と試験の経験の活用 C. I. 14.2.9 プラント運転と非常時手順の試用 C. I. 14.2.10 初期燃料装荷と初期臨界 C. I. 14.2.11 試験プログラムのスケジュール C. I. 14.2.12 個々の試験の記述 C. I. 14.3 検査、試験、解析及び許容基準	○設計及び工事計画（令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」） ・添付資料 －設計及び工事に係る品質管理の方法等に関する説明書 1. 概要 2. 基本方針 2.1 設計に係る品質管理の方法で行った管理の実績 2.2 工事に係る品質管理の方法及びその検査のための組織についての具体的な計画 2.3 適合性確認対象設備の保守管理について 2.4 本工事計画で記載する設計、工事及び検査以外の品質保証活動 3. 本工事計画における設計、工事及び検査に係る品質管理の方法等 3.1 設計、工事及び検査に係る組織（組織内外の部門間の相互関係及び情報伝達に関する事項を含む。） 3.2 本工事計画における設計、工事及び検査の各段階とその照査 3.3 設計に係る品質管理の方法で行った管理の実績に係る計画 3.4 工事に係る品質管理の方法及びその検査のための方法 3.5 本工事計画における調達管理の方法 3.6 記録、識別管理、追跡可能性 ○保安規定 ・第 2 章 品質マネジメントシステム 第 3 条 品質マネジメントシステム計画	適合性確認検査や使用前事業者検査（令和 2 年 4 月 1 日以前は「使用前検査」）が該当する。本表では適合性確認検査に係る資料を記載した。 検査の許容基準等の詳細は、個別の検査要領書に記載している。

第 1.5.15 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (15. 過渡及び事故解析)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 15 過渡及び事故解析 C. I. 15.1 過渡及び事故分類 C. I. 15.2 発生頻度 C. I. 15.3 安全評価上考慮されるプラント特性 C. I. 15.4 仮定する保護系動作 C. I. 15.5 個別起因事象の評価 C. I. 15.6 事象評価 C. I. 15.6.1 原因及び頻度分類の特定 C. I. 15.6.2 事象推移及び系統運用 C. I. 15.6.3 炉心及び系統挙動 C. I. 15.6.3.1 評価モデル C. I. 15.6.3.2 入力パラメータ及び初期条件 C. I. 15.6.3.3 結果 C. I. 15.6.4 バリアの挙動 C. I. 15.6.4.1 評価モデル C. I. 15.6.4.2 入力パラメータ及び初期条件 C. I. 15.6.4.3 結果 C. I. 15.6.5 放射線の影響		C. I. 15 のサマリとして 主要な項目を記載。

第 1.5.15 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (15. 過渡及び事故解析)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 15.1 過渡及び事故分類 C. I. 15.2 発生頻度 C. I. 15.3 安全評価上考慮されるプラント特性 C. I. 15.4 仮定する保護系動作	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類十 1. 安全評価に関する基本方針 1.1 基本的な考え方 1.2 主要な解析条件 1.3 解析に使用する計算プログラム	
C. I. 15.5 個別起因事象の評価 C. I. 15.6 事象評価 C. I. 15.6.1 原因及び頻度分類の特定 C. I. 15.6.2 事象推移及び系統運用 C. I. 15.6.3 炉心及び系統挙動 C. I. 15.6.3.1 評価モデル C. I. 15.6.3.2 入力パラメータ及び初期条件 C. I. 15.6.3.3 結果 C. I. 15.6.4 バリアの挙動 C. I. 15.6.4.1 評価モデル C. I. 15.6.4.2 入力パラメータ及び初期条件 C. I. 15.6.4.3 結果 C. I. 15.6.5 放射線の影響	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類十 2. 運転時の異常な過渡変化の解析 3. 設計基準事故の解析 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・添付資料 - 中央制御室の居住性に関する説明書 - 緊急時対策所の居住性に関する説明書	放射線の影響は、非 居住区域境界の中の 場所として、敷地境 界だけでなく、制御 室も挙げられてい る。

第 1.5.16 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (16. 技術仕様書)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 16 技術仕様書 ・NUREG-1431「標準技術仕様書 (Westinghouse Plants)」 1.0 USE AND APPLICATION 2.0 SAFETY LIMITS (SLs) 3.0 LIMITING CONDITION FOR OPERATION APPLICABILITY 3.0 SURVEILLANCE REQUIREMENT APPLICABILITY 3.1 REACTIVITY CONTROL SYSTEMS 3.2 POWER DISTRIBUTION LIMITS 3.3 INSTRUMENTATION 3.4 REACTOR COOLANT SYSTEM (RCS) 3.5 EMERGENCY CORE COOLING SYSTEMS (ECCS) 3.6 CONTAINMENT SYSTEMS 3.7 PLANT SYSTEMS 3.8 ELECTRICAL POWER SYSTEMS 3.9 REFUELING OPERATIONS 4.0 DESIGN FEATURES 5.0 ADMINISTRATIVE CONTROLS		C. I. 16 のサマリとして記載。 RG 1.206 ではプラント別の標準技術仕様書 (NUREG) が引用されている。内容は保安規定の運転上の制限に概ね対応する。

第 1.5.16 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (16. 技術仕様書)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
1.0 USE AND APPLICATION 1.1 Definitions 1.2 Logical Connectors 1.3 Completion Times 1.4 Frequency	○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 1 節 通則 第 11 条 構成および定義	
2.0 SAFETY LIMITS (SLs) 2.1 SLs 2.2 SL Violations 3.0 LIMITING CONDITION FOR OPERATION APPLICABILITY 3.0 SURVEILLANCE REQUIREMENT APPLICABILITY 3.1 REACTIVITY CONTROL SYSTEMS 3.1.1 SHUTDOWN MARGIN (SDM) 3.1.2 Core Reactivity 3.1.3 Moderator Temperature Coefficient (MTC) 3.1.4 Rod Group Alignment Limits 3.1.5 Shutdown Bank Insertion Limits 3.1.6 Control Bank Insertion Limits 3.1.7 Rod Position Indication 3.1.8 PHYSICS TESTS Exceptions - MODE 2 3.2 POWER DISTRIBUTION LIMITS 3.2.1A Heat Flux Hot Channel Factor (FQ(Z)) (CAOC-FXY Methodology) 3.2.1B Heat Flux Hot Channel Factor (FQ(Z)) (RAOC-W(Z) Methodology) 3.2.1C Heat Flux Hot Channel Factor (FQ(Z)) (CAOC-W(Z) Methodology) 3.2.2 Nuclear Enthalpy Rise Hot Channel Factor (NHF) 3.2.3A AXIAL FLUX DIFFERENCE (Constant Axial Offset ControlMethodology) 3.2.3B AXIAL FLUX DIFFERENCE (Relaxed Axial Offset ControlMethodology) 3.2.4 QUADRANT POWER TILT RATIO	○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 3 節 運転上の制限 第 19 条 停止余裕 第 20 条 臨界ボロン濃度 第 21 条 減速材温度係数 第 22 条 制御棒動作機能 第 23 条 制御棒の挿入限界 第 24 条 制御棒位置指示 第 25 条 炉物理検査 -モード 1 - 第 26 条 炉物理検査 -モード 2 - 第 27 条 化学体積制御系 (ほう酸濃縮機能) 第 28 条 原子炉熱出力 第 29 条 熱流束熱水路係数 ($F_Q(Z)$) 第 30 条 核的エンタルピ上昇熱水路係数 ($F_{\Delta H}^N$) 第 31 条 軸方向中性子束出力偏差 第 32 条 1/4 炉心出力偏差 第 33 条 計測および制御設備 第 86 条 運転上の制限の確認 第 87 条 運転上の制限を満足しない場合	

第 1.5.16 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (16. 技術仕様書)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
3.3 INSTRUMENTATION (Section 3.3 Specifications with an "A" suffix include setpoints. Specifications with a "B" suffix reflect a Setpoint Control Program.) 3.3.1A Reactor Trip System (RTS) Instrumentation 3.3.1B Reactor Trip System (RTS) Instrumentation 3.3.2A Engineered Safety Feature Actuation System (ESFAS) Instrumentation 3.3.2B Engineered Safety Feature Actuation System (ESFAS) Instrumentation 3.3.3 Post Accident Monitoring (PAM) Instrumentation 3.3.4 Remote Shutdown System 3.3.5A Loss of Power (LOP) Diesel Generator (DG) Start Instrumentation 3.3.5B Loss of Power (LOP) Diesel Generator (DG) Start Instrumentation 3.3.6A Containment Purge and Exhaust Isolation Instrumentation 3.3.6B Containment Purge and Exhaust Isolation Instrumentation 3.3.7A Control Room Emergency Filtration System (CREFS) Actuation Instrumentation 3.3.7B Control Room Emergency Filtration System (CREFS) Actuation Instrumentation 3.3.8A Fuel Building Air Cleanup System (FBACS) Actuation Instrumentation 3.3.8B Fuel Building Air Cleanup System (FBACS) Actuation Instrumentation 3.3.9A Boron Dilution Protection System (BDPS) 3.3.9B Boron Dilution Protection System (BDPS)	○保安規定 ・第 4 章 運転管理 - 第 3 節 運転上の制限 - 第 33 条 計測および制御設備	

第 1.5.16 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (16. 技術仕様書)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
3.4 REACTOR COOLANT SYSTEM (RCS) 3.4.1 RCS Pressure, Temperature, and Flow Departure from Nucleate Boiling Limits 3.4.2 RCS Minimum Temperature for Criticality 3.4.3 RCS Pressure and Temperature Limits 3.4.4 RCS Loops - MODES 1 and 2 3.4.5 RCS Loops - MODE 3 3.4.6 RCS Loops - MODE 4 3.4.7 RCS Loops - MODE 5, Loops Filled 3.4.8 RCS Loops - MODE 5, Loops Not Filled 3.4.9 Pressurizer 3.4.10 Pressurizer Safety Valves 3.4.11 Pressurizer Power Operated Relief Valves 3.4.12 Low Temperature Overpressure Protection System 3.4.13 RCS Operational LEAKAGE 3.4.14 RCS Pressure Isolation Valve Leakage 3.4.15 RCS Leakage Detection Instrumentation 3.4.16 RCS Specific Activity 3.4.17 RCS Loop Isolation Valves 3.4.18 RCS Isolated Loop Startup 3.4.19 RCS Loops - Test Exceptions 3.4.20 Steam Generator (SG) Tube Integrity	○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 3 節 運転上の制限 第 34 条 DNB 比 第 35 条 1 次冷却材の温度・圧力および 1 次冷却材温度変化率 第 36 条 1 次冷却系－モード 3－ 第 37 条 1 次冷却系－モード 4－ 第 38 条 1 次冷却系－モード 5 (1 次冷却系満水)－ 第 39 条 1 次冷却系－モード 5 (1 次冷却系非満水)－ 第 40 条 1 次冷却系－モード 6 (キャビティ高水位)－ 第 41 条 1 次冷却系－モード 6 (キャビティ低水位)－ 第 42 条 加圧器 第 43 条 加圧器安全弁 第 44 条 加圧器逃がし弁 第 45 条 低温過加圧防護 第 46 条 1 次冷却材漏えい率 第 47 条 蒸気発生器細管漏えい監視 第 48 条 余熱除去系への漏えい監視 第 49 条 1 次冷却材中のよう素 131 濃度	
3.5 EMERGENCY CORE COOLING SYSTEMS (ECCS) 3.5.1 Accumulators 3.5.2 ECCS - Operating 3.5.3 ECCS - Shutdown 3.5.4 Refueling Water Storage Tank (RWST) 3.5.5 Seal Injection Flow 3.5.6 Boron Injection Tank (BIT)	○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 3 節 運転上の制限 第 50 条 蓄圧タンク 第 51 条 非常用炉心冷却系－モード 1, 2 および 3－ 第 52 条 非常用炉心冷却系－モード 4－ 第 53 条 燃料取替用水タンク	

第 1.5.16 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (16. 技術仕様書)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
3.6 CONTAINMENT SYSTEMS 3.6.1 Containment (Atmospheric, Subatmospheric, Ice Condenser, and Dual) 3.6.2 Containment Air Locks (Atmospheric, Subatmospheric, Ice Condenser, and Dual) 3.6.3 Containment Isolation Valves (Atmospheric, Subatmospheric, Ice Condenser, and Dual) 3.6.4A Containment Pressure (Atmospheric, Dual, and Ice Condenser) 3.6.4B Containment Pressure (Subatmospheric) 3.6.5A Containment Air Temperature (Atmospheric and Dual) 3.6.5B Containment Air Temperature (Ice Condenser) 3.6.5C Containment Air Temperature (Subatmospheric) 3.6.6A Containment Spray and Cooling Systems (Atmospheric and Dual) (Credit taken for iodine removal by the Containment Spray System) 3.6.6B Containment Spray and Cooling Systems (Atmospheric and Dual) (Credit not taken for iodine removal by the Containment Spray System) 3.6.6C Containment Spray System (Ice Condenser) 3.6.6D Quench Spray (QS) System (Subatmospheric) 3.6.6E Recirculation Spray (RS) System (Subatmospheric) 3.6.7 Spray Additive System (Atmospheric, Subatmospheric, Ice Condenser, and Dual) 3.6.8 Shield Building (Dual and Ice Condenser) 3.6.9 Hydrogen Mixing System (HMS) (Atmospheric, Ice Condenser, and Dual) 3.6.10 Hydrogen Ignition System (HIS) (Ice Condenser) 3.6.11 Iodine Cleanup System (ICS) (Atmospheric and Subatmospheric) (次頁に続く)	○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 3 節 運転上の制限 第 55 条 原子炉格納容器 第 56 条 原子炉格納容器真空逃がし系 第 57 条 原子炉格納容器スプレイ系 第 58 条 アニユラス空気浄化系 第 59 条 アニユラス	

第 1.5.16 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (16. 技術仕様書)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
(前頁の続き) 3.6.12 Vacuum Relief Valves (Atmospheric and Ice Condenser) 3.6.13 Shield Building Air Cleanup System (SBACS) (Dual and Ice Condenser) 3.6.14 Air Return System (ARS) (Ice Condenser) 3.6.15 Ice Bed (Ice Condenser) 3.6.16 Ice Condenser Doors (Ice Condenser) 3.6.17 Divider Barrier Integrity (Ice Condenser) 3.6.18 Containment Recirculation Drains (Ice Condenser)		
3.7 PLANT SYSTEMS 3.7.1 Main Steam Safety Valves (MSSVs) 3.7.2 Main Steam Isolation Valves (MSIVs) 3.7.3 Main Feedwater Isolation Valves (MFIVs) and Main Feedwater Regulation Valves (MFRVs) [and Associated Bypass Valves] 3.7.4 Atmospheric Dump Valves (ADVs) 3.7.5 Auxiliary Feedwater (AFW) System 3.7.6 Condensate Storage Tank (CST) 3.7.7 Component Cooling Water (CCW) System 3.7.8 Service Water System (SWS) 3.7.9 Ultimate Heat Sink (UHS) 3.7.10 Control Room Emergency Filtration System (CREFS) 3.7.11 Control Room Emergency Air Temperature Control System (CREATCS) 3.7.12 Emergency Core Cooling System (ECCS) Pump Room Exhaust Air Cleanup System (PREACS) 3.7.13 Fuel Building Air Cleanup System (FBACS) 3.7.14 Penetration Room Exhaust Air Cleanup System (PREACS) 3.7.15 Fuel Storage Pool Water Level [3.7.16 Fuel Storage Pool Boron Concentration] [3.7.17 Spent Fuel Pool Storage] 3.7.18 Secondary Specific Activity	○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 3 節 運転上の制限 第 60 条 主蒸気安全弁 第 61 条 主蒸気隔離弁 第 62 条 主給水隔離弁, 主給水制御弁および主給水バイパス制御弁 第 63 条 主蒸気逃がし弁 第 64 条 補助給水系 第 65 条 補助給水タンク 第 66 条 原子炉補機冷却水系 第 67 条 原子炉補機冷却海水系 第 68 条 制御用空気系 第 69 条 中央制御室非常用循環系 第 70 条 安全補機室空気浄化系 第 71 条 燃料取扱建屋空気浄化系 第 83 条 使用済燃料ピットの水位および水温	

第 1.5.16 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (16. 技術仕様書)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
3.8 ELECTRICAL POWER SYSTEMS 3.8.1 AC Sources - Operating 3.8.2 AC Sources - Shutdown 3.8.3 Diesel Fuel Oil, Lube Oil, and Starting Air 3.8.4 DC Sources - Operating 3.8.5 DC Sources - Shutdown 3.8.6 Battery Parameters 3.8.7 Inverters - Operating 3.8.8 Inverters - Shutdown 3.8.9 Distribution Systems - Operating 3.8.10 Distribution Systems - Shutdown	○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 3 節 運転上の制限 第 72 条 外部電源 第 73 条 ディーゼル発電機－モード 1, 2, 3 および 4－ 第 74 条 ディーゼル発電機－モード 5, 6 および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間－ 第 75 条 ディーゼル発電機の燃料油, 潤滑油および始動用空気 第 76 条 非常用直流電源－モード 1, 2, 3 および 4－ 第 77 条 非常用直流電源－モード 5, 6 および照射済燃料移動中－ 第 78 条 所内非常用母線－モード 1, 2, 3 および 4－ 第 79 条 所内非常用母線－モード 5, 6 および照射済燃料移動中－	
3.9 REFUELING OPERATIONS 3.9.1 Boron Concentration [3.9.2 Unborated Water Source Isolation Valves] 3.9.3 Nuclear Instrumentation 3.9.4 Containment Penetrations 3.9.5 Residual Heat Removal (RHR) and Coolant Circulation - High Water Level 3.9.6 Residual Heat Removal (RHR) and Coolant Circulation - Low Water Level 3.9.7 Refueling Cavity Water Level	○保安規定 ・第 4 章 運転管理 第 3 節 運転上の制限 第 33 条 計測および制御設備 第 40 条 1 次冷却系－モード 6 (キャビティ高水位)－ 第 41 条 1 次冷却系－モード 6 (キャビティ低水位)－ 第 80 条 1 次冷却材中のほう素濃度－モード 6－ 第 81 条 原子炉キャビティ水位 第 82 条 原子炉格納容器貫通部－モード 5 および 6－	
4.0 DESIGN FEATURES 4.1 Site Location 4.2 Reactor Core 4.3 Fuel Storage	－	4.1 は C. I. 2, 4.2 は C. I. 4, 4.3 は C. I. 9.1 参照。

第 1.5.16 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (16. 技術仕様書)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
5.0 ADMINISTRATIVE CONTROLS 5.1 Responsibility 5.2 Organization 5.3 Unit Staff Qualifications 5.4 Procedures 5.5 Programs and Manuals 5.6 Reporting Requirements 5.7 High Radiation Area	○保安規定 ・第 3 章 保安管理体制 ・第 4 章 運転管理 ・第 5 章 燃料管理 ・第 6 章 放射性廃棄物管理 ・第 7 章 放射線管理 ・第 8 章 施設管理 ・第 9 章 非常時の措置 ・第 10 章 保安教育 ・第 11 章 記録および報告	

第 1.5.17 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (17. 品質保証及び信頼性保証)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 17 品質保証及び信頼性保証 C. I. 17.1 設計及び建設段階における品質保証 C. I. 17.2 運転段階における品質保証 C. I. 17.3 品質保証プログラム文書 C. I. 17.4 信頼性保証プログラムガイダンス C. I. 17.5 品質保証プログラムに関するガイダンス C. I. 17.6 申請者による 10CFR50.65「保守規則」の実施プログラムに関する記述		C. I. 17 のサマリとして主要な項目を記載。

第 1.5.17 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (17. 品質保証及び信頼性保証)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 17.1 設計及び建設段階における品質保証 C. I. 17.1.1 早期立地許可に関する品質保証に関する方策	—	設計・建設段階の項目であり対象外とする。
C. I. 17.2 運転段階における品質保証 C. I. 17.3 品質保証プログラム文書	—	C. I. 17.5 参照。
C. I. 17.4 信頼性保証プログラムガイダンス C. I. 17.4.1 標準審査指針 (SRP) の 17.4 節に新たに追加 C. I. 17.4.2 信頼性保証プログラムの範囲、段階、及び目標 C. I. 17.4.3 信頼性保証プログラムの実施 C. I. 17.4.4 COL 申請に必要な信頼性保証プログラムに関する情報	—	米国の規制体系に係る項目 (リスク重要度に係る運用) であり対象外とする。
C. I. 17.5 品質保証プログラムに関するガイダンス C. I. 17.5.1 COL 申請者の QA プログラムに関する責任 C. I. 17.5.2 更新 SRP17.5 節と QA プログラムに関する記述 C. I. 17.5.3 SRP 及び QAPD 提出ガイダンスによる QAPD の評価	○保安規定 ・第 2 章 品質マネジメントシステム 第 3 条 品質マネジメントシステム計画 4. 品質マネジメントシステム 5. 経営者の責任 6. 資源の管理 7. 個別業務に関する計画の策定および個別業務の実施 8. 評価および改善	
C. I. 17.6 申請者による 10CFR50.65「保守規則」の実施プログラムに関する記述 C. I. 17.6.1 10CFR50.65(b)の規定に基づく範囲 C. I. 17.6.2 10CFR50.65(a)に基づく監視 C. I. 17.6.3 10CFR50.65(a)(3)項に基づく定期評価 C. I. 17.6.4 10CFR50.65(a)(4)項の規定に基づくリスク評価及び管理 C. I. 17.6.5 保守規則に関する訓練及び資格認定 C. I. 17.6.6 運転段階における信頼性保証プログラム (RAP) の実施における保守規則プログラムの役割 C. I. 17.6.7 保守規則プログラムの実施	○保安規定 ・第 8 章 施設管理 第 119 条 施設管理計画 3. 保全対象範囲の策定 4. 施設管理の重要度の設定 5. 保全活動管理指標の設定, 監視計画の策定および監視 6. 保全計画の策定 7. 保全の実施 8. 保全の結果の確認・評価 9. 不適合管理, 是正処置および未然防止処置 10. 保全の有効性評価 11. 施設管理の有効性評価	

第 1.5.18 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (18. ヒューマンファクター工学)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 18 ヒューマンファクター工学 C. I. 18.1 HFE プログラム・マネジメント C. I. 18.2 運転経験レビュー C. I. 18.3 機能要求分析及び機能割当 C. I. 18.4 タスク分析 C. I. 18.5 人員配置及び資格認定 C. I. 18.6 人間信頼性分析 (HRA) C. I. 18.7 ヒューマン－システム・インターフェイス設計 C. I. 18.8 手順書の作成 C. I. 18.9 訓練プログラムの開発 C. I. 18.10 検証と妥当性確認 (V&V) C. I. 18.11 設計の実行 C. I. 18.12 ヒューマンパフォーマンス監視		C. I. 18 のサマリとして 主要な項目を記 載。

第 1.5.18 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (18. ヒューマンファクター工学)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 18.1 HFE プログラム・マネジメント C. I. 18.1.1 全般的な HFE プログラムと範囲 (スコープ) C. I. 18.1.2 HFE のチームと構成 C. I. 18.1.3 HFE プロセスと手順 C. I. 18.1.4 HFE 問題の追跡 (トラッキング) C. I. 18.1.5 HFE 技術プログラム C. I. 18.2 運転経験レビュー C. I. 18.2.1 目的及び範囲 (スコープ) C. I. 18.2.2 方法論 C. I. 18.2.2.1 運転経験レビュー (OER) プロセス C. I. 18.2.2.2 先行のプラント及びシステム C. I. 18.2.2.3 リスク上重要な人間行動 (HA) C. I. 18.2.2.4 HFE 技術 C. I. 18.2.2.5 認知されている産業界の問題 C. I. 18.2.2.6 プラント要員によって特定された問題 C. I. 18.2.2.7 問題分析、追跡 (トラッキング) 及びレビュー C. I. 18.2.3 結果 C. I. 18.3 機能要求分析及び機能割当 C. I. 18.3.1 目的及び範囲 (スコープ) C. I. 18.3.1.1 機能要求分析 C. I. 18.3.1.2 機能割当分析 C. I. 18.3.2 方法論 C. I. 18.3.2.1 機能要求分析の方法論 C. I. 18.3.2.2 機能割当分析 (FAA: Functional Allocation Analysis) の方法論 C. I. 18.3.3 結果 C. I. 18.4 タスク分析 C. I. 18.4.1 目的及び範囲 (スコープ) C. I. 18.4.2 方法論 C. I. 18.4.3 結果 C. I. 18.5 人員配置及び資格認定 C. I. 18.5.1 目的及び範囲 (スコープ) C. I. 18.5.2 方法論 C. I. 18.5.3 結果	○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・添付資料 - 設計及び工事に係る品質管理の方法等 ○保安規定 ・第 2 章 品質マネジメントシステム 第 3 条 品質マネジメントシステム計画 7. 個別業務に関する計画の策定および個別業務の実施 7. 3 設計開発 8. 評価および改善	一般的な設計管理プロセスのなかで考慮。

第 1.5.18 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (18. ヒューマンファクター工学)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 18.6 人間信頼性分析 (HRA) C. I. 18.6.1 目的及び範囲 (スコープ) C. I. 18.6.2 方法論 C. I. 18.6.3 結果	○安全性向上評価届出書 3. 安全性の向上のため自主的に講じた措置の調査及び分析 3.1.2 確率論的リスク評価 (PRA)	PRA の一部として実施。
C. I. 18.7 ヒューマン・システム・インターフェイス (HSI) 設計 C. I. 18.7.1 目的及び範囲 (スコープ) C. I. 18.7.2 方法論 C. I. 18.7.2.1 HSI 設計の入力 C. I. 18.7.2.2 運転の概念 C. I. 18.7.2.3 機能要求仕様 C. I. 18.7.2.4 HSI 概念設計 C. I. 18.7.2.5 HSI 詳細設計及び統合化 C. I. 18.7.2.6 HSI 試験及び評価 C. I. 18.7.3 結果 C. I. 18.7.3.1 HSI 設計とそのキーとなる特質の概要 C. I. 18.7.3.2 HSI の安全上の側面 C. I. 18.7.3.3 HSI 変更プロセス	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類八 6. 計測制御系統施設 6.10 制御室 ○設計及び工事計画 (令和 2 年 4 月 1 日以前は「工事計画」) ・本文 [計測制御系統施設] 発電用原子炉の運転を管理するための制御装置 2 中央制御室機能及び中央制御室外原子炉停止機能 ・添付資料 - 中央制御室の機能に関する説明書	

第 1.5.18 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (18. ヒューマンファクター工学)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 18.8 手順書の作成 C. I. 18.8.1 目的及び範囲 (スコープ) C. I. 18.8.2 方法論 C. I. 18.8.3 結果 C. I. 18.9 訓練プログラムの開発 C. I. 18.9.1 目的及び範囲 (スコープ) C. I. 18.9.2 方法論 C. I. 18.9.3 結果 C. I. 18.10 検証と妥当性確認 (V&V) C. I. 18.10.1 目的及び範囲 (スコープ) C. I. 18.10.2 方法論 C. I. 18.10.2.1 運転状態のサンプリング C. I. 18.10.2.2 設計検証 C. I. 18.10.2.3 総合的なシステム検証 C. I. 18.10.2.4 人間工学上の不一致の解消 C. I. 18.10.3 結果 C. I. 18.11 設計の実行 C. I. 18.11.1 目的及び範囲 (スコープ) C. I. 18.11.2 方法論 C. I. 18.11.3 結果 C. I. 18.12 ヒューマンパフォーマンス監視 C. I. 18.12.1 目的及び範囲 (スコープ) C. I. 18.12.2 方法論 C. I. 18.12.3 結果	○保安規定 ・第 2 章 品質マネジメントシステム 第 3 条 品質マネジメントシステム計画 4. 品質マネジメントシステム 4.1 品質マネジメントシステムに係る要求事項 4.2 品質マネジメントシステムの文書化 6. 資源の管理 7. 個別業務に関する計画の策定および個別業務の実施 7.3 設計開発 8. 評価および改善	一般的な設計管理プロセスのなかで考慮。

第 1.5.19 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (19. PRA 及び SA 評価)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
C. I. 19 確率的リスク評価 (PRA) 及びシビアアクシデント評価 C. I. 19.1 規制基準 C. I. 19.2 PRA 及びシビアアクシデント評価の用途 C. I. 19.3 範囲 (スコープ) C. I. 19.4 詳細さのレベル C. I. 19.5 技術的な妥当性 C. I. 19.6 リスクに関する洞察の展開 C. I. 19.7 PRA の保守とアップグレード (更新) C. I. 19.8 シビアアクシデント C. I. 19.9 文書化 Appendix A 19.0 PRA (確率論的リスク評価) 及びシビアアクシデント評価 19.1 PRA (確率論的リスク評価) 19.1.1 PRA の使用と適用 19.1.2 PRA の品質 19.1.3 特殊な設計/運転上の特性 19.1.4 出力運転における内的事象 PRA からの安全上の洞察 19.1.5 出力運転における外的事象 PRA からの安全上の洞察 19.1.6 運転時の他のモードにおける PRA からの安全上の洞察 19.1.7 他のプログラム及びプロセスへの PRA を利用したインプット 19.1.8 結論及び発見事項 19.2 シビアアクシデント評価 19.2.1 序論 19.2.2 シビアアクシデントの防止 19.2.3 シビアアクシデントの緩和 19.2.4 格納容器パフォーマンス能力 19.2.5 アクシデントマネジメント 19.2.6 10CFR50.34(f)に基づく設計改善の可能性の考慮 19.3 未解決であると特定された未決定項目、確認項目、及び COL アクション項目 19.3.1 未決定項目の調査 19.3.2 確認項目の解決 19.3.3 COL アクション項目の解決		C. I. 19 のサマリとして主要な項目を記載。 標準フォーマットを示す Appendix A に沿って比較する。

第 1.5.19 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (19. PRA 及び SA 評価)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
19.0 PRA (確率論的リスク評価) 及びシビアアクシデント評価 19.1 PRA (確率論的リスク評価) 19.1.1 PRA の使用と適用 19.1.1.1 設計フェーズ 19.1.1.2 COL 申請フェーズ 19.1.1.2.1 被認可者プログラムのサポートにおける PRA の使用 19.1.1.2.2 リスク情報を活用した申請 19.1.1.3 建設フェーズ 19.1.1.3.1 被認可者プログラムのサポートにおける PRA の使用 19.1.1.3.2 リスク情報を活用した申請 19.1.1.4 運転フェーズ 19.1.1.4.1 被認可者プログラム支援における PRA の使用 19.1.1.4.2 リスク情報を活用した申請	○安全性向上評価届出書 ・第 2 章 安全性の向上のため自主的に講じた措置 2.1.2 目的及び目標 ・第 3 章 安全性向上のため自主的に講じた措置の調査及び分析 3.1.2 確率論的リスク評価 (PRA)	
19.1.2 PRA の品質 19.1.2.1 PRA の対象範囲 19.1.2.2 PRA の詳細レベル 19.1.2.3 PRA の技術的妥当性 19.1.2.4 PRA の保守及びアップグレード 19.1.3 特殊な設計/運転上の特性 19.1.3.1 炉心損傷を防ぐ設計/運転上の特性 19.1.3.2 炉心損傷結果の緩和及び格納容器からの放射性物質の放出を防ぐ設計・運転上の特性 19.1.3.3 格納容器からの放射性物質の放出結果を緩和する設計・運転上の特性 19.1.3.4 設計プロセスにおける PRA の使用	○安全性向上評価届出書 ・第 3 章 安全性向上のため自主的に講じた措置の調査及び分析 3.1.2 確率論的リスク評価 (PRA) 3.1.2.1 内部事象 PRA (レベル 1, 2) 3.1.2.1.1 出力運転時 PRA (レベル 1, 2) 3.1.2.1.1.1 評価に必要な情報の収集及び分析 3.1.2.1.2 停止時 PRA (レベル 1) 3.1.2.1.2.1 評価に必要な情報の収集及び分析 3.1.2.2 外部事象 PRA (レベル 1, 2) 3.1.2.2.1 地震出力運転時 PRA (レベル 1, 2) 3.1.2.2.1.1 評価に必要な情報の収集及び分析 3.1.2.2.2 津波出力運転時 PRA (レベル 1, 2) 3.1.2.2.2.1 評価に必要な情報の収集及び分析	

第 1.5.19 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (19. PRA 及び SA 評価)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
19.1.4 出力運転における内的事象 PRA からの安全上の洞察 19.1.4.1 出力運転における内的事象レベル 1 PRA 19.1.4.1.1 出力運転における内的事象レベル 1 PRA の記述 19.1.4.1.2 出力運転におけるレベル 1 PRA の結果 19.1.4.2 出力運転における内的事象レベル 2 PRA 19.1.4.2.1 出力運転時の内的事象レベル 2 PRA の解説 19.1.4.2.2 出力運転時のレベル 2 PRA の結果 19.1.4.3 出力運転における内的事象レベル 3 PRA (オプションとして) 19.1.4.3.1 出力運転におけるレベル 3 PRA の解説 (オプションとして) 19.1.4.3.2 出力運転におけるレベル 3 PRA の結果 (オプションとして)	○安全性向上評価届出書 ・第 3 章 安全性向上のため自主的に講じた措置の調査及び分析 3.1.2 確率論的リスク評価 (PRA) 3.1.2.1 内部事象 PRA (レベル 1, 2) 3.1.2.1.1 出力運転時 PRA (レベル 1, 2) 3.1.2.1.2 停止時 PRA (レベル 1) 3.1.2.3 被ばく評価 3.1.2.4 PRA により抽出された追加措置 3.1.2.4.1 炉心損傷に至る主なシナリオの分析 3.1.2.4.2 格納容器機能喪失に至る主なシナリオの分析	
19.1.5 出力運転における外的事象 PRA からの安全上の洞察 19.1.5.1 地震リスク評価 19.1.5.1.1 地震リスク評価の解説 19.1.5.1.2 地震リスク評価の結果	○安全性向上評価届出書 ・第 3 章 安全性向上のため自主的に講じた措置の調査及び分析 3.1.2 確率論的リスク評価 (PRA) 3.1.2.2 外部事象 PRA (レベル 1, 2) 3.1.2.2.1 地震出力運転時 PRA (レベル 1, 2) 3.1.2.2.2 津波出力運転時 PRA (レベル 1, 2) 3.1.2.4 PRA により抽出された追加措置 3.1.2.4.1 炉心損傷に至る主なシナリオの分析 3.1.2.4.2 格納容器機能喪失に至る主なシナリオの分析	
19.1.5.2 内部火災リスク評価 19.1.5.2.1 内部火災リスク評価の解説 19.1.5.2.2 内部火災リスク評価の結果	—	今後の安全性向上評価において対応を検討

第 1.5.19 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (19. PRA 及び SA 評価)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
19.1.6 運転時の他のモードにおける PRA からの安全上の洞察 19.1.6.1 低出力運転及び停止過程における PRA の解説 19.1.6.2 低出力運転及び停止過程における PRA の結果	○安全性向上評価届出書 ・第 3 章 安全性向上のため自主的に講じた措置の調査及び分析 3.1.2 確率論的リスク評価 (PRA) 3.1.2.1 内部事象 PRA (レベル 1, 2) 3.1.2.1.2 停止時 PRA (レベル 1) 3.1.2.4 PRA により抽出された追加措置 3.1.2.4.1 炉心損傷に至る主なシナリオの分析	
19.1.7 他のプログラム及びプロセスへの PRA を利用したインプット 19.1.7.1 設計プログラム及びプロセスへの PRA インプット 19.1.7.2 保守規則実施への PRA インプット 19.1.7.3 Reactor Oversight Process (原子炉監視プロセス) への PRA インプット 19.1.7.4 Reactor Assurance Program (信頼性保証プログラム) への PRA インプット 19.1.7.5 Regulatory Treatment of Nonsafety-Related Systems Program (非安全系に関する規制上の取り扱い) への PRA インプット 19.1.7.N 他のプログラムあるいはプロセスへの PRA インプット	—	今後の安全性向上評価において検討
19.1.8 結論及び発見事項	○安全性向上評価届出書 ・第 3 章 安全性向上のため自主的に講じた措置の調査及び分析 3.1.2 確率論的リスク評価 (PRA) 3.1.2.4 PRA により抽出された追加措置	

第 1.5.19 表 RG 1.206 の要求事項と許認可図書等との関係性 (19. PRA 及び SA 評価)

RG 1.206 の要求事項	伊方 3 号機 許認可図書等	備考
19.2 シビアアクシデント評価 19.2.1 序論 19.2.2 シビアアクシデントの防止 19.2.3 シビアアクシデントの緩和 19.2.4 格納容器パフォーマンス能力	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類十 6. 重大事故等への対処に係る措置の有効性評価の基本的考え方 7. 重大事故に至るおそれがある事故及び重大事故に対する対策の有効性評価 ・添付書類十 追補 2. II 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価	
19.2.5 アクシデントマネジメント	○発電用原子炉設置変更許可申請書 ・添付書類十 5. 重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力 ・添付書類十 追補 1 重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力	
19.2.6 10CFR50.34(f)に基づく設計改善の可能性の考慮 19.2.6.1 序論 19.2.6.2 設計におけるリスクの推定 19.2.6.3 潜在的な設計改善の特定 19.2.6.4 設計改善によるリスク低減の可能性 19.2.6.5 設計改善代替案のコスト上の影響 19.2.6.6 費用対効果の比較 19.2.6.7 結論	○安全性向上評価届出書 ・第 3 章 安全性向上のため自主的に講じた措置の調査及び分析 3.1.2 確率論的リスク評価 (PRA) 3.1.2.4 PRAにより抽出された追加措置 3.1.2.6 過去に公表済みの PRA 結果と解析条件の相違について	
19.3 未解決であると特定された未決定項目、確認項目、及び COL アクション項目 19.3.1 未決定項目の解決 19.3.2 確証項目の解決 19.3.3 COL アクション項目の解決	○安全性向上評価届出書 ・第 3 章 安全性向上のため自主的に講じた措置の調査及び分析 3.1.2 確率論的リスク評価 (PRA) 3.1.2.4 PRAにより抽出された追加措置 3.1.2.5 PRA改善に向けた取組み方針	